

Ngram を用いた表記から見た紅梅文庫旧蔵本『源氏物語』の位置付けの調査

— 書陵部蔵三条西家本、保坂本、大正大学本、日大本、池田本、大島本を中心とした写本との比較を通して —

齊 藤 鉄 也

【要旨】

本調査の目的は、計量文献学の手法を用いて、他の源氏物語写本と比較し、紅梅文庫旧蔵本の本文を位置付けることである。本調査では、稿者が作成した写本本文のデータから生成した文字列の頻度に基づき、紅梅文庫旧蔵本や日本大学蔵三条西家本、書陵部蔵三条西家本といった源氏物語の各巻ごとに写本本文を分類した。表記の調査結果からは、紅梅文庫旧蔵本は日大本と本文が類似すると考えられる写本が計十七存在し、その中でも大永五(1525)年に書写されたかと考えられる四写本は共通の親本を持つと考えられる程度に本文が類似していることが明らかとなった。

一 はじめに

本研究の目的は、漢字と仮名の使い分けや送り仮名、仮名遣い、音使といった表記の相違を反映した本文データを用いて、計量的な処理のみで写本を分類することと、その結果を文学や文献学の研究成果と比較し、本方法の有効性と限界を明らかにすることである。その一例として、本稿では、紅梅文庫旧蔵本『源氏物語』⁽¹⁾の本文を中心に、統計学的手法を用いて、他の源氏物語写本と比較し、相対的な位置付けを試みた調査結果を報告する。

本調査では、稿者が作成した写本文のデータから生成した文字列の頻度に基づき、源氏物語の各巻ごとに写本文を分類した。調査対象とした写本は、紅梅文庫旧蔵本『源氏物語』五十一帖（以下、紅梅本とする）、日本大学蔵三条西家本五十三帖（以下、日大本）、書陵部蔵三条西家本五十四帖（以下、書陵部本）、室町時代補写の保坂本十七帖、大正大学本五十四帖（以下、大正大本）、池田本五十二帖、大島本五十三帖、熊本大学教育学部本の一部である二十五帖（以下、熊大本）の源氏物語を中心とした計三百五十九写本である。

表記の調査結果からは、紅梅本は日大本と本文が類似すると考えられる写本が計十七存在し、その中でも大永五（1525）年に書写されたかと考えられる四写本は共通の親本を持つと考えられる程度に本文が類似していることが明らかとなった。

二 本調査の目的と関連研究

本調査の目的は、計量文献学の手法を用いて、他の源氏物語写本と比較し、紅梅本の本文を位置付けることである。計量文献学は、本文が持つ何らかの特徴や関係を数値を用いて表し、それに対して統計学的手法を適用する文献学の一領域である。本調査では、稿者が作成した写本文のデータから生成した文字列の頻度に基づき、紅梅本と、紅梅本の奥書に記されている三条西実隆が関わった日大本といった室町時代に書写されたと考えられている複数の源氏物語を中心とした本文と比較して、紅梅本の本文の相対的な位置付けを明らかにすることを試みた。

同様の手法を用いた本文分類の例としては稿者による⁽²⁾がある。その調査では、源氏物語の六帖「空蟬」「花宴」「花散里」「閑屋」「篝火」「鈴虫」の全文と、「柏木」の一部を調査対象の写本として選択した。各帖ごとに、本文から五文字の文字列（*grams*）を生成し、その頻度データを用いて統計分析を行い、写本の分類を試みた。その結果、これまでの定家（青表紙）本系統、河内本系統、別本群といった二系統一群に近い分類結果が得られたが、それらの結果は、書写年代といった書誌情報に関連した分類とはならなかった。

そこで、前稿⁽³⁾⁽⁴⁾では、分類結果を考察し易いように、調査対象写本を定家（青表紙）本系統とし、書写年代が近く、三条西実隆が関わっている可能性がある写本を中心として選択して、本文を分類した。本稿においても前稿と同様の調査方法を用いているが、写本の分類尺度を変更したことで、熊大本を調査対象写本として追加したことから、再調査することとした。

三 調査対象とした写本と本文データ

紅梅本の比較対象に用いた源氏物語の写本は、日大本、書陵部本、大正本、池田本、大島本、室町期補写の保坂本の全帖である。これらに加えて、奥書より、紅梅本の転写本かと考えられる熊大本の一部の写本を比較対象とした。

分析に用いた、稿者が作成した本文データは、写本の本行本文を対象に、仮名と漢字、改行位置を同一としている。一音で読む漢字は全て仮名と見做して仮名と漢字を区別している。漢字の異体字は通行化している。ミセケチされた文字については、傍記は採字せず、本行本文に書写された文字を採字した。

本調査で用いた本文データを本稿末の表一にまとめた。表一では、写本名と仮名と漢字の文字数、文字数に占める漢字の割合を漢字率としてまとめている。本文データの調査範囲はおおよそ五千文字程度を対象とした。五千字に満たない本文を持つ帖は全文を対象としている。

四 調査方法

本調査で用いた写本の本文データの生成方法と分類方法を述べる。生成方法では、調査対象としたそれぞれの写本の本行本文の漢字と仮名の使い分けや仮名遣い、音便を反映した本文データを生成し、それに対して、写本の先頭文字から一文字ずつずらしながら、一定文字数（ N 文字）の本文の断片（ N -gram）を生成する。分類方法では、同一の文字列を集計した頻度を用いて計算した写本間距離によって、表記の似た本文の

分類を、統計的方法を用いて行う。統計的分類方法に関する詳細は注にまとめた。

本方法では、仮名と漢字の使い分け、仮名遣い、送り仮名、音便といった同義ではあるが異なる表記を持つ本文は「異同」と見做し、生成された本文の特徴を表すデータに反映される。つまり、表記の異同によって異なる文字列が生成され、本文の相違として扱われ統計処理される。例えば、定家（青表紙）本系統の写本のうち、「本文が類似している」と指摘される二つの写本であっても、それらの写本が異なる表記を持つ本文の場合、写本間の距離は遠くなるように計算される。その結果、本調査で作成したデータを用いた写本間距離が近い場合は、本文に加えて、表記まで含めて近いことを示し、写本の本文間に何らかの関係があること、例えば、「転写の過程を共有する」、または、「世代が近い」といった写本関係が存在する可能性を示唆している、と言える。その一方で、写本系統の分類の際に重視される本文異同が、仮名と漢字の使い分けといった大量の表記の相違の中に埋もれてしまう可能性があり、『源氏物語大成』を用いた分類結果とは一致しない可能性もある。

五 短編を用いた写本間距離の尺度の設計

前稿²⁾で調査対象とした「空蟬」「花宴」「花散里」「関屋」「篝火」「鈴虫」の全文と「柏木」の一部である約五千文字の本文を調査対象に、「本文が類似している」との指摘がある写本間の距離から写本間距離を測る尺度を設計し、その尺度に基づいて閾値となる距離を決めることとした。写本間距離を測る尺度を設計するために採用した写本として、本文が

類似しているとの指摘がある、次の写本を取り上げた⁽³⁾。

- (1) 親本と臨模本の関係がある尊経閣本と明融臨模本の「柏木」、
- (2) 字詰や行詰、漢字と仮名の使い分けが同一との指摘がある日大本と中院文庫本の「空蟬」「花散里」「関屋」「篝火」「鈴虫」の全文、「柏木」の一部、

(3) 共通の親本を持つとの指摘がある池田本と明融臨模本の「桐壺」「花宴」、

(4) 本文間が「似ている」との指摘がある写本には、本文の同一系統内で異同が少ないとの指摘がある河内本のうち、尾州家本と高松宮家本の「空蟬」「花宴」「花散里」「関屋」「篝火」「鈴虫」の全文、「柏木」の一部、

を取り上げ、それぞれの写本群の写本間距離を計算した。これらの写本の本文データを表二にまとめた。

これらの各写本群の写本間距離を計算し、箱ひげ図として図一に表す。箱ひげ図は、調査したデータの25%から75%が集まる範囲を示す「箱」と、最小値から最大値の範囲を示す「ひげ」からなり、それぞれ写本群の写本間距離の分布を可視化することができる。図中の黒点は、調査した写本組の写本間距離の値を示している。

この図を用いて、簡易的な写本間距離を測る尺度を設計する。本調査では、尺度の指標として、データが集まる範囲の中で、箱ひげ図の「箱」の上端の値である分布の75%を示す値を選択した。その結果、臨模の関係にある写本間距離は0.01、字詰や行詰が一致する写本間距離は0.04、共通の親本を持つ写本間距離は0.07、本文異同が少ない写本間距離は0.17となった。これらの写本間距離の指標は、今回の調査で暫定的に決

定した数値である。今後のさらなる写本の調査結果によって変更する可能性がある。

六 各帖の写本間距離の調査結果と考察

調査対象とした紅梅本を含む八写本間の写本間距離を求め、写本間距離の尺度を用いて、本文が類似する写本を探索する。ここでは各帖の調査結果を集約した表を作成し、それに基づいて考察を述べていく。

最初に、各帖ごとに統計手法を用いて分類し樹形図として表した。この結果を本稿末に図二として示した。次に、図二の結果を、写本間関係ごとに表に集約し、本文表記が類似している写本間関係を、表三としてまとめた。また、紅梅本と本文表記が類似している巻を、推定書写年代を含め書写年代が明らかな室町時代の写本と比較し、表四としてまとめた。最後に、紅梅本と熊大本の写本間関係を表五として別にまとめた。

六.一 各帖の写本間距離に基づく分類

本調査では、写本間距離に基づく分類結果は、樹形図として可視化される。写本間距離が近い写本は樹形図の中でグループを構成する。グループの写本間距離は、構成されたグループの樹形図の高さとして表されている。このグループの高さを、写本間距離の尺度と比較し、グループに所属する写本の写本間関係を分類する。図二では、本文表記が類似する尺度で点線を引き、写本間関係を示している。

図二からは、調査対象が限定された暫定的な尺度に基づく分類であるが、本調査結果からは、表記が類似する写本は多くは存在せず、存在し

たとしても、本文異同が少ない写本間距離にある可能性が高いと考えられる。この表記が類似する写本が少ないことから、本方法を用いた調査により、写本間距離が近い写本群を探索し、詳細な調査を必要とする写本を絞り込むことができ、その結果からは、それらの写本間に何らかの関係やその理由が存在する可能性がある、と言える。その関係や理由は奥書といった文献学や書誌学の根拠と共に考察する必要がある、本方法だけでは明らかにすることはできないが、調査すべき写本の選択に關しての示唆を得ることはできる。また、比較対象となる写本が増加した場合であっても、一連の分類手続きはコンピュータ上の統計処理として「自動化」されているため、調査対象写本を拡大した場合にも対応でき、調査や研究の効率化に寄与する可能性がある、と言える。

六・二 各帖の写本間距離に基づく分類の集約

図二の結果を、熊大本を除く、全帖を調査対象としている写本の写本間関係ごとに表三に集約した。表三では、尺度に基づいた写本間関係ごとに、グループを構成する写本を括弧で表している。括弧が入れ子となっているグループは三写本以上が同一グループに存在していることを表している。紅梅本と日大本、熊大本の関係は後述する。ここでは、それ以外の写本関係を述べる。

表三からは、大島本、書陵部本、大正大本の三写本がグループを構成することが、他の写本のグループと比較して多いことが明らかになった。具体的には、大島本、書陵部本、大正大本の三写本がグループを構成する三帖、大島本と書陵部本がグループを構成する五帖、大島本と大正大本がグループを構成する五帖、書陵部本と大正大本がグループを構成す

る十二帖がある。特に、書陵部本と大正大本は書写年代が近いと考えられることから、それらの写本に至るまでの転写の過程を共有する可能性に加えて、同時代に流通していた写本の様相を考察する手掛かりとなる可能性がある。

紅梅本と写本間距離が近い写本は表四として別にまとめている。表四では、紅梅本の比較対象として、書写年代が明らかかな写本を縦方向に、推定を含む書写年代順に並べ、紅梅本と比較した。紅梅本が欠帖または後補の巻は巻名にアスタリスクを付けている。比較対象写本が存在しない巻には斜線を引いている。紅梅本と写本間距離が近い写本は、前述の尺度の程度に応じて記号を用いて表している。

最初に日大本以外の写本について述べる。紅梅本は、書陵部本と二帖、保坂本と二帖とグループを構成している。これらの写本は日大本より書写年代が古いと考えられることから、紅梅本の本文の位置付けを考察する手掛かりとなる可能性がある。

次に、紅梅本と日大本について述べる。これらの写本は、計十七帖がグループを構成する。そのうち、「桐壺」から「夕顔」までは共通の親本を持つ写本間距離以下に存在する。これらの写本には、奥書より大永五年の書写年代を持つ写本を含む。これは、紅梅本の本文が日大本の多くが書写された享祿三、四年より以前に書写された写本との関係を考察する手掛かりとなる可能性がある。

また、表四の比較対象から外れた写本のうち、写本間距離が近い写本としては、表三から、池田本と日大本がグループを構成する「若紫」「末摘花」「明石」「絵合」「朝顔」「総角」の六帖が存在する。これは、日大本を書写する際に、池田本またはその転写本を用いた可能性が指摘できる。

六. 三 紅梅本と熊大本の各帖の写本間距離に基づく分類の集約

最後に、表五として、紅梅本と熊大本の関係をまとめた。紅梅本と熊大本は、共通の親本を持つ距離に十二帖を含み、調査した全二十五帖のうち、紅梅本が欠帖または補写である三帖と「若紫」を除いた二十一帖が、本文異同が少ない写本間距離にある。このことから、紅梅本と熊大本の本文の密接な関係が指摘できる。このため、未調査の写本の確認も必要ではあるが、紅梅本が欠帖または補写である「蓬生」「若菜上」「総角」の本文は、熊大本を用いて検討することが可能であろう。

七 まとめと今後の課題

本稿では、表記に着目した写本間距離の調査を行った。表記を用いた場合、仮名と漢字の区別といった点まで同一でなければ類似していると判断できないため、調査対象写本として、同じ定家(青表紙)本系統内で、三条西実隆に関連した写本を選択し、その分類の細分化を試みた。表記が類似する写本に関しては、写本系統の分類や同系統内での分類の際に重視される本文異同に基づいた分類とは異なり、転写の過程に共通の写本が存在するといった、転写の過程を共有する可能性を指摘できる。そのため、本調査では、本文表記の類似性を測る写本間距離の尺度を設計し、距離に基づいた写本の分類を試みた。これにより、これまでは「本文が類似している」といった定性的な記述をされてきた写本間関係に対して、定量的な写本間距離に基づき、「臨模本と同程度に」「字詰や行詰が一致する程度に」「共通の親本を持つ程度に」「同系統の本文の中で本文異同が少ない程度に」類似している、といった記述が可能になった。

今回、調査対象とした紅梅本の写本は、表記の調査結果からは、日大本と写本間距離が近い写本が多いことが明らかになった。紅梅本の「夢浮橋」の奥書により、実隆筆の親本を少なくとも二度転写されていると考えられる紅梅本ではあるが、書写年代や書写者が異なる日大本と「同系統の本文の中で本文異同が少ない程度に」類似している本文を持つ写本が存在する。この現象を説明するために、文明年間に書写された実隆筆写本¹⁾からの派生した写本として紅梅本と日大本を位置付ける仮説や、日大本を含む写本を取合せた親本を転写した写本として紅梅本を位置付ける仮説を提案できる。しかし、本調査では、比較対象とする写本が限定されているため、それらの仮説を考察することは困難である。

今後は、実隆が書写したとされる写本を含む吉川史料館蔵本や蓬左文庫蔵本といった源氏物語写本を調査対象とし、同様の方法を用いた調査を試み、紅梅本の位置付けを考えていきたい。

謝辞

上野英子先生をはじめとした本文研究会の参加者の諸先生のご教示に、末筆ながら厚く御礼申し上げます。また、本研究はJSPS科研費JP19K00349の支援により実施されました。

注

本文のSgramを生成する手法は、本文の先頭文字から五文字ずつ順に本文の断片文字列を生成する。そのため、一文字ずつずれた五文字の本文の断片が以下、調査対象範囲の最後まで順に生成される。文字列の長さに関

しては暫定的に五文字と決定した。今後の調査によっては、この文字数を変更する可能性がある。本文データからは、次の手順で処理するデータを生成する。

(1) 作成した本文データの最初の文字より一文字ずつずらしながら最後まで長さ五文字の文字列 (5gram) を生成する。この文字列は、同じ帖の写本ごとに機械的に生成される。

(2) 帖単位で写本に出現する同一の 5gram の頻度を集計し、これを本文の特徴を表すデータとする。このデータに対して統計手法を用いて分類する。

(3) 集計した 5gram の頻度に基づいて写本間の距離を計算する。頻度の差が大きいほど、また異なる種類の文字列が多いほど、写本間の距離は大きくなり、本文の表記が異なることを示す。本調査では、異なる巻を同一の尺度で比較するため、写本間距離の計算方法には、情報検索の分野で用いられることが多いコサイン (cosine) 距離を用いている。コサイン距離は、距離が 0 から 1 の間で表される。写本間距離が 0 の場合は、その本文が同一であることを表す。

(4) この写本間距離に対して、統計手法を用いて分類し可視化する。可視化する統計手法は、「教師情報」と呼ばれる既知の分類結果が事前に分らかでないデータに対して、データの特徴だけに基づいて分類する「教師なし分類手法」を用いる。本調査では、互いに近い写本間距離を持つ写本を可視化するために階層的クラスター分析を用いる。階層的クラスター分析では、写本間関係が木構造として表され、互いに写本間距離が近い写本はグループを構成する。本調査では写本のグループの構成方法として、写本間距離が最も遠い距離を群間距離として採

用する、最遠距離法を用いる。

出典

調査対象写本は、出版または画像公開された写本を対象としている。特に書名のない写本は源氏物語を表している。

・紅梅本 (紅梅文庫旧蔵本) 実践女子大学文芸資料研究所上野英子教授より画像を閲覧させていただいた

・書陵部本 (書陵部蔵三条西家本) 宮内庁書陵部所蔵資料目録・画像公開システム

<https://shoryobu.kunaicho.go.jp/Toshoryo/Detail/100062926000>

・大正大学本 大正大学図書館・研究所 源氏物語写本 (2021/09/30 現在リンク切れ) https://rais.ac.jp/library_lab/library/genji/

・日大本 (日本大学蔵三条西家本) 日本大学蔵源氏物語第一巻～第十一巻 三条西家証本 八木書店 1994,1995,1996

・池田本源氏物語池田本一～十 新天理図書館善本叢書 天理図書館附属天理図書館編 八木書店 2016,2017,2018

・大島本 大島本源氏物語第一巻～第十巻 角川書店 1996

・保坂本 保坂本源氏物語第一巻～第四巻 おうふう 1995,1996

・熊大本 (熊本大学教育学部旧蔵本) 新日本古典籍総合データベース <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100137183/>

参考文献

(1) 上野英子「源氏物語三条西家本の世界―室町時代享受史の一樣相」

武蔵野書院 2019

- (2) 齊藤鉄也「仮名のNgramを用いた源氏物語写本の系統分類の試み」
人文科学とコンピュータシンポジウム論文集 Vol.2017 No.1 89-96 (Dec.
2017)
- (3) 齊藤鉄也「Ngramを用いた表記から見た紅梅文庫旧蔵本『源氏物語』
の位置付け(1)」実践女子大学文芸資料研究所年報第39号 2020年3月)
- (4) 齊藤鉄也「Ngramを用いた表記から見た紅梅文庫旧蔵本『源氏物語』
の位置付け(2)」実践女子大学文芸資料研究所年報第40号 2021年3月)
- (5) 齊藤鉄也「表記のNgramを用いた蓬左文庫蔵三条西家本源氏物語の
親本の推定——紅梅文庫旧蔵本源氏物語と日本大学蔵三条西家本源氏物
語との比較を通して——」淑徳大学経営学部・教育学部研究年報 2020
(2021年3月)

表一 本調査で用いた本文データ

卷	紅梅本			書陵部本			大正大本		
	仮名数	漢字数	漢字率	仮名数	漢字数	漢字率	仮名数	漢字数	漢字率
01-桐壺	5688	537	8.6%	5828	477	7.6%	5695	520	8.4%
02-箒木	5814	373	6.0%	5876	356	5.7%	5764	413	6.7%
03-空蟬	4582	262	5.4%	4601	243	5.0%	4566	269	5.6%
04-夕顔	5341	497	8.5%	5746	304	5.0%	5624	361	6.0%
05-若紫	5456	414	7.1%	5414	452	7.7%	5297	511	8.8%
06-未摘花	5564	404	6.8%	5615	385	6.4%	5623	393	6.5%
07-紅葉賀	5835	578	9.0%	5617	667	10.6%	5683	642	10.2%
08-花宴	5828	356	5.8%	4046	417	9.3%	4261	314	6.9%
09-葵	5150	407	7.3%	5991	505	7.8%	5805	593	9.3%
10-賢木	5710	610	9.7%	5436	743	12.0%	5291	808	13.2%
11-花散里	1602	97	5.7%	1542	120	7.2%	1681	115	6.4%
12-須磨	3414	288	7.8%	5527	465	7.8%	5072	671	11.7%
13-明石	5939	375	5.9%	5531	564	9.3%	5473	577	9.5%
14-濤標	5698	563	9.0%	5826	540	8.5%	5702	573	9.1%
15-蓬生				5852	588	9.1%	5978	542	8.3%
16-関屋	1964	120	5.8%	1943	137	6.6%	1967	127	6.1%
17-絵合	5578	541	8.8%	5587	529	8.6%	5535	554	9.1%
18-松風	5488	389	6.6%	5413	416	7.1%	5442	409	7.0%
19-薄雲	5187	375	6.7%	5574	349	5.9%	5337	481	8.3%
20-朝顔	5431	355	6.1%	5201	453	8.0%	5506	325	5.6%
21-少女	5582	556	9.1%	5589	581	9.4%	5605	566	9.2%
22-玉鬘	5278	256	4.6%	5173	327	5.9%	4996	396	7.3%
23-初音	6077	364	5.7%	6241	290	4.4%	6113	339	5.3%
24-胡蝶	5729	436	7.1%	5571	510	8.4%	5822	370	6.0%
25-蚩	6394	270	4.1%	6172	376	5.7%	5792	498	7.9%
26-常夏	6018	407	6.3%	5999	412	6.4%	5637	600	9.6%
27-篝火	1343	117	8.0%	1360	112	7.6%	1370	107	7.2%
28-野分	6678	484	6.8%	6725	477	6.6%	6538	563	7.9%
29-行幸	11517	817	6.6%	10961	1038	8.7%	11568	772	6.3%
30-藤袴	5707	494	8.0%	5775	462	7.4%	5620	539	8.8%
31-真木柱	6330	528	7.7%	6144	606	9.0%	6111	632	9.4%
32-梅枝	5374	551	9.3%	5379	609	10.2%	5390	556	9.4%
33-藤裏葉	5369	490	8.4%	5530	412	6.9%	5246	618	10.5%
34-若菜上				5709	531	8.5%	5695	541	8.7%
35-若菜下	5457	585	9.7%	5423	621	10.3%	5513	580	9.5%
36-柏木	5238	382	6.8%	5063	454	8.2%	3259	388	10.6%
37-横笛	5424	443	7.6%	5498	413	7.0%	4767	706	12.9%
38-鈴虫	5803	549	8.6%	5690	601	9.6%	5811	557	8.7%
39-夕霧	5551	412	6.9%	5485	445	7.5%	5382	514	8.7%
40-御法	5846	425	6.8%	5677	508	8.2%	5674	509	8.2%
41-幻	6569	392	5.6%	6423	460	6.7%	6359	514	7.5%
42-匂兵部卿	5720	550	8.8%	5286	744	12.3%	5204	791	13.2%
43-紅梅	5309	460	8.0%	5047	580	10.3%	5177	514	9.0%
44-竹河	5488	536	8.9%	5394	593	9.9%	5018	543	9.8%
45-橋姫	15678	1088	6.5%	5068	323	6.0%	5172	279	5.1%
46-椎本	5375	545	9.2%	5439	525	8.8%	5472	500	8.4%
47-総角				5330	463	8.0%	5634	328	5.5%
48-早蕨	7338	583	7.4%	7070	717	9.2%	6619	922	12.2%
49-宿木	5570	528	8.7%	5672	523	8.4%	5720	475	7.7%
50-東屋	5662	431	7.1%	5695	422	6.9%	5587	474	7.8%
51-浮舟	5310	457	7.9%	5323	433	7.5%	5236	476	8.3%
52-蜻蛉	5473	405	6.9%	5498	390	6.6%	5161	547	9.6%
53-手習	5361	357	6.2%	5312	381	6.7%	5200	451	8.0%
54-夢浮橋	5486	400	6.8%	5492	388	6.6%	5371	464	8.0%

表一 本調査で用いた本文データ（続き）

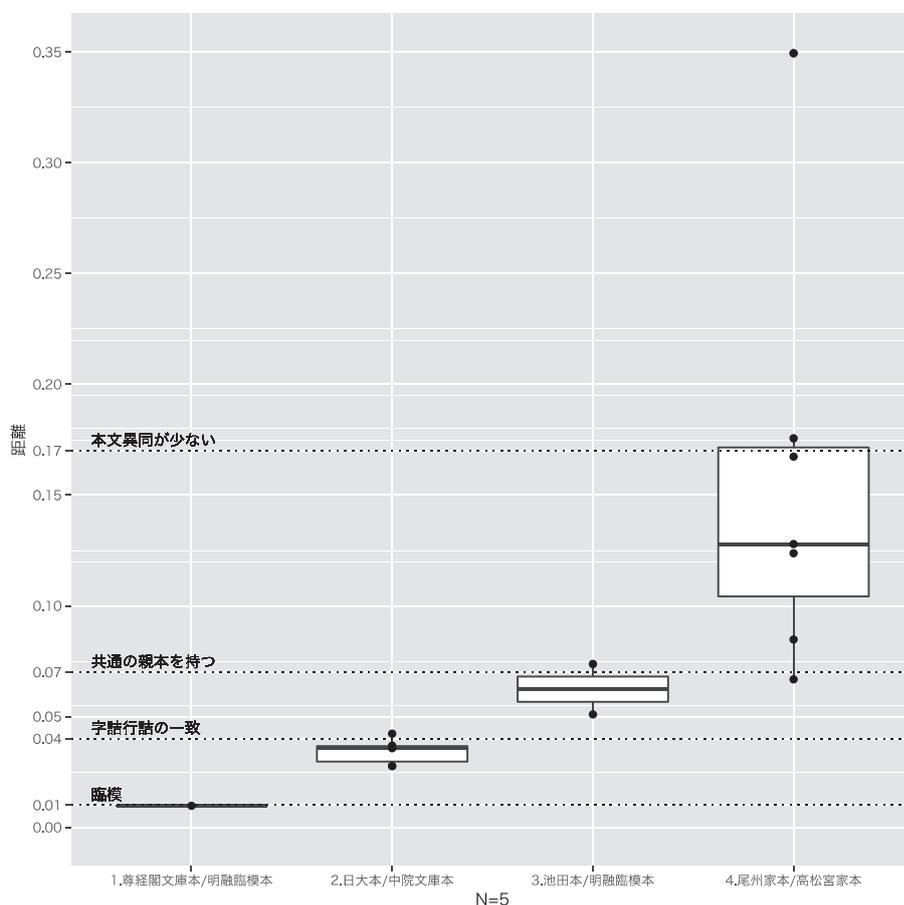
巻	保坂本			日大本			熊大本		
	仮名数	漢字数	漢字率	仮名数	漢字数	漢字率	仮名数	漢字数	漢字率
01-桐壺	5857	469	7.4%	5670	540	8.7%	4534	429	8.6%
02-箒木	5565	515	8.5%	5804	376	6.1%	5857	343	5.5%
03-空蟬	4464	322	6.7%	4582	257	5.3%	4556	272	5.6%
04-夕顔	5568	403	6.7%	5325	503	8.6%			
05-若紫	5370	468	8.0%	5480	420	7.1%	5412	446	7.6%
06-末摘花	5546	422	7.1%	5585	388	6.5%			
07-紅葉賀	5762	605	9.5%	5777	586	9.2%			
08-花宴	4272	314	6.8%	4319	304	6.6%	4125	376	8.4%
09-葵	5790	590	9.2%	6148	422	6.4%			
10-賢木	5563	682	10.9%	6282	332	5.0%			
11-花散里	1585	114	6.7%	1591	97	5.7%	1594	100	5.9%
12-須磨	5485	466	7.8%	5492	452	7.6%			
13-明石	5738	470	7.6%	5938	359	5.7%			
14-濡標	5661	578	9.3%	6333	289	4.4%			
15-蓬生	6012	518	7.9%	6240	366	5.5%	6070	483	7.4%
16-関屋	1917	136	6.6%	1989	110	5.2%	1970	117	5.6%
17-絵合	5449	606	10.0%	5756	444	7.2%			
18-松風				5600	320	5.4%			
19-薄雲				5740	286	4.7%			
20-朝顔				5353	360	6.3%			
21-少女				5988	373	5.9%			
22-玉鬘				18053	678	3.6%			
23-初音				6145	306	4.7%	5997	401	6.3%
24-胡蝶				5878	371	5.9%			
25-蜩				6423	235	3.5%	6270	329	5.0%
26-常夏				5981	407	6.4%			
27-篝火				1356	105	7.2%	1331	125	8.6%
28-野分				6682	458	6.4%			
29-行幸				11923	594	4.7%	11317	918	7.5%
30-藤袴				5726	459	7.4%	5684	500	8.1%
31-真木柱				6658	360	5.1%			
32-梅枝				5570	453	7.5%			
33-藤裏葉				5355	469	8.1%			
34-若菜上				5847	462	7.3%	5701	547	8.8%
35-若菜下				5585	510	8.4%	5424	599	9.9%
36-柏木				5323	347	6.1%	5195	398	7.1%
37-横笛				5630	349	5.8%	5358	473	8.1%
38-鈴虫				6054	418	6.5%	5748	577	9.1%
39-夕霧									
40-御法				6239	237	3.7%			
41-幻				6945	210	2.9%			
42-匂兵部卿				5810	498	7.9%	5679	576	9.2%
43-紅梅				5560	343	5.8%	5280	476	8.3%
44-竹河				5659	434	7.1%			
45-橋姫				5292	209	3.8%	4982	356	6.7%
46-椎本				5472	502	8.4%			
47-総角				5621	324	5.4%	5399	430	7.4%
48-早蕨				7712	404	5.0%	7263	621	7.9%
49-宿木				5858	403	6.4%			
50-東屋				5849	345	5.6%			
51-浮舟				29369	1804	5.8%	5282	471	8.2%
52-蜻蛉				5693	317	5.3%			
53-手習				5534	260	4.5%			
54-夢浮橋				5593	331	5.6%	5456	417	7.1%

表一 本調査で用いた本文データ（続き）

巻	池田本			大島本		
	仮名数	漢字数	漢字率	仮名数	漢字数	漢字率
01-桐壺	9955	1025	9.3%	5547	635	10.3%
02-籌木	5895	326	5.2%	5883	334	5.4%
03-空蟬	4591	251	5.2%	4677	217	4.4%
04-夕顔	5723	313	5.2%	5677	339	5.6%
05-若紫	5502	420	7.1%	5469	421	7.1%
06-未摘花	5554	388	6.5%	5610	401	6.7%
07-紅葉賀	5709	594	9.4%	5750	596	9.4%
08-花宴	4172	356	7.9%	4178	369	8.1%
09-葵	6104	436	6.7%	5935	522	8.1%
10-賢木	5287	526	9.0%	5679	614	9.8%
11-花散里				1568	110	6.6%
12-須磨	5504	468	7.8%	5462	450	7.6%
13-明石	5875	395	6.3%	5465	583	9.6%
14-漣標	5722	558	8.9%	5803	542	8.5%
15-蓬生	6157	396	6.0%	6244	414	6.2%
16-関屋	1989	96	4.6%	1956	133	6.4%
17-絵合	5763	419	6.8%	5579	535	8.8%
18-松風	5453	368	6.3%	5522	375	6.4%
19-薄雲	5477	397	6.8%	5438	437	7.4%
20-朝顔	5324	370	6.5%	5508	324	5.6%
21-少女	5534	560	9.2%	5615	527	8.6%
22-玉鬘	5469	166	2.9%	16546	1397	7.8%
23-初音	5976	382	6.0%	5506	646	10.5%
24-胡蝶	5808	403	6.5%	6570	400	5.7%
25-蚩	6045	384	6.0%	6128	388	6.0%
26-常夏	6063	348	5.4%	6694	410	5.8%
27-篝火	1289	114	8.1%	1360	109	7.4%
28-野分	6729	415	5.8%	6736	470	6.5%
29-行幸	10906	1039	8.7%	11542	788	6.4%
30-藤袴	5846	424	6.8%	5656	520	8.4%
31-真木柱	6410	471	6.8%	8867	842	8.7%
32-梅枝	5335	563	9.5%	5433	530	8.9%
33-藤裏葉	5701	333	5.5%	5416	489	8.3%
34-若菜上	5802	468	7.5%	5592	584	9.5%
35-若菜下	5498	553	9.1%	5606	541	8.8%
36-柏木				5262	349	6.2%
37-横笛	5834	249	4.1%	5429	445	7.6%
38-鈴虫	5902	485	7.6%	5702	590	9.4%
39-夕霧	5572	363	6.1%	5541	423	7.1%
40-御法	6042	332	5.2%	5663	507	8.2%
41-幻	6519	398	5.8%	6311	524	7.7%
42-匂兵部卿	5635	564	9.1%	5181	827	13.8%
43-紅梅	5190	484	8.5%	5005	587	10.5%
44-竹河	5614	436	7.2%	5470	553	9.2%
45-橋姫	15540	1086	6.5%	15629	1125	6.7%
46-椎本	5577	425	7.1%	5310	574	9.8%
47-総角	5697	286	4.8%	5489	396	6.7%
48-早蕨	7320	550	7.0%	7353	589	7.4%
49-宿木	5613	428	7.1%	5583	549	9.0%
50-東屋	5598	401	6.7%	5504	495	8.3%
51-浮舟	5600	295	5.0%			
52-蜻蛉	5485	370	6.3%	5465	402	6.9%
53-手習	5536	334	5.7%	5198	426	7.6%
54-夢浮橋	5506	356	6.1%	5515	393	6.7%

表二 尺度の設計に用いた写本

		仮名数	漢字数	漢字率		仮名数	漢字数	漢字率
臨模								
36-柏木	尊経閣本	16706	1149	6.4%	明融臨模本	16726	1149	6.4%
行詰が一致								
03-空蟬	日大本	4582	257	5.3%	中院文庫本	4584	257	5.3%
11-花散里	日大本	1591	97	5.7%	中院文庫本	1585	97	5.8%
16-関屋	日大本	1989	110	5.2%	中院文庫本	1987	112	5.3%
27-篝火	日大本	1356	105	7.2%	中院文庫本	1357	105	7.2%
36-柏木	日大本	5323	347	6.1%	中院文庫本	5322	342	6.0%
38-鈴虫	日大本	6054	418	6.5%	中院文庫本	6049	421	6.5%
親本が共通								
01-桐壺	池田本	9955	1025	9.3%	明融臨模本	9995	1024	9.3%
08-花宴	池田本	4172	356	7.9%	明融臨模本	4200	349	7.7%
異同が少ない								
03-空蟬	尾州家本	4691	195	4.0%	高松宮家本	4600	225	4.7%
08-花宴	尾州家本	4730	275	5.5%	高松宮家本	4395	426	8.8%
11-花散里	尾州家本	1759	66	3.6%	高松宮家本	1752	68	3.7%
16-関屋	尾州家本	2068	70	3.3%	高松宮家本	2070	88	4.1%
27-篝火	尾州家本	1300	134	9.3%	高松宮家本	1326	121	8.4%
36-柏木	尾州家本	5436	267	4.7%	高松宮家本	5502	243	4.2%
38-鈴虫	尾州家本	6157	411	6.3%	高松宮家本	5996	461	7.1%



図一 各写本群の写本間距離の箱ひげ図

表三 本文表記が類似している写本間関係表

写本間関係	卷	写本群
臨模		
字詰行詰が一致	01	(紅梅本,日大本)
共通の親本を持つ	02	(紅梅本,日大本)
	03	(紅梅本,日大本)
	04	(紅梅本,日大本)
	08	(保坂本,大正大本)
本文異同が少ない	01	(書陵部本,保坂本)
	02	((紅梅本,日大本),書陵部本)
	05	(池田本,日大本)
	06	((池田本,日大本),書陵部本)(大島本,大正大本)
	07	((大正大本,日大本),書陵部本),(紅梅本,保坂本))
	10	(紅梅本,保坂本)
	13	(池田本,日大本)
	14	(紅梅本,保坂本)(書陵部本,大正大本)
	16	(大島本,大正大本)
	17	(池田本,日大本)((大島本,大正大本),書陵部本)
	18	(紅梅本,大島本)(書陵部本,大正大本)
	20	(池田本,日大本)(大島本,大正大本)
	21	(書陵部本,大正大本)
	24	(紅梅本,日大本)
	26	(紅梅本,日大本)(大島本,書陵部本)
	27	((紅梅本,書陵部本),日大本)(大島本,大正大本)
	28	(紅梅本,日大本)(大島本,書陵部本)
	29	(大島本,大正大本)
	31	(書陵部本,大正大本)
	32	(紅梅本,日大本)
	33	(紅梅本,日大本)
	34	(大島本,書陵部本)
	35	(紅梅本,日大本)((書陵部本,大正大本),大島本)
	36	(紅梅本,日大本)
	39	(書陵部本,大正大本)
	40	(大島本,書陵部本)
	42	(紅梅本,日大本)
	44	((大島本,書陵部本),大正大本)
	45	(書陵部本,大正大本)
	46	(書陵部本,大正大本)(紅梅本,日大本)
	47	(池田本,日大本)(大島本,大正大本)
50	(紅梅本,日大本)	
51	(紅梅本,日大本)	
52	(大島本,書陵部本)	
53	(書陵部本,大正大本)	

表四 紅梅本と書写年代が指摘される写本の写本間関係表

写本名 推定年代	大正大本 1493	書陵部本 1489-1506	保坂本 1504?-1521?	日大本 1525,1530,1531
01-桐壺				◎
02-箒木		●		○
03-空蟬				○
04-夕顔				○
05-若紫				
06-末摘花				
07-紅葉賀	●	●	●	●
08-花宴				
09-葵				
10-賢木			●	
11-花散里				
12-須磨				
13-明石				
14-滯標			●	
15-蓬生*				
16-関屋				
17-絵合				
18-松風				
19-薄雲				
20-朝顔				
21-少女				
22-玉鬘				
23-初音				
24-胡蝶				●
25-蛩				
26-常夏				●
27-篝火		●		●
28-野分				●
29-行幸				
30-藤袴				
31-真木柱				
32-梅枝				●
33-藤裏葉				●
34-若菜上*				
35-若菜下				●
36-柏木				●
37-横笛				
38-鈴虫				
39-夕霧				
40-御法				
41-幻				
42-匂兵部卿				●
43-紅梅				
44-竹河				
45-橋姫				
46-椎本				●
47-総角*				
48-早蕨				
49-宿木				
50-東屋				●
51-浮舟				●
52-蜻蛉				
53-手習				
54-夢浮橋				

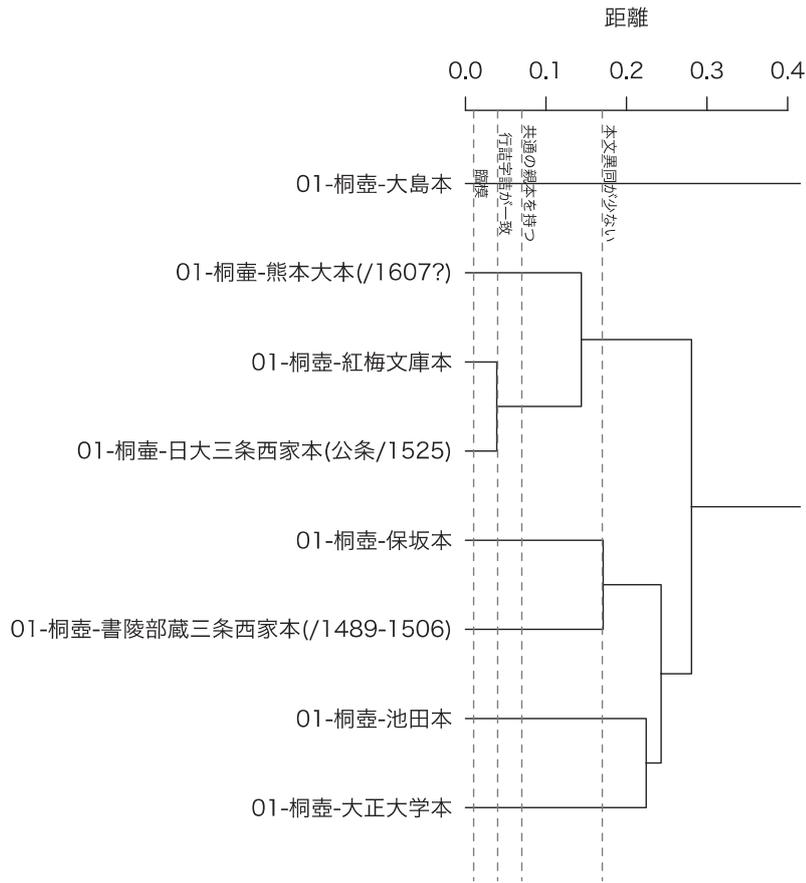
◎字詰行詰が一致、○共通の親本を持つ、●本文異同が少ない

表五 本文表記が類似している紅梅本と熊大本の写本間関係表

写本間関係	卷	写本群
臨模		
字詰行詰が一致		
共通の親本を持つ	08 11 16 23 27 35 36 37 38 42 43 51	(熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本)
本文異同が少ない	01 02 03 05 15 25 27 29 30 34 35 36 42 45 48 51 54	((紅梅本,日大本),熊大本) ((紅梅本,日大本),熊大本) ((紅梅本,日大本),熊大本) (熊大本,紅梅本) (保坂本,熊大本) (熊大本,紅梅本) ((熊大本,紅梅本),日大本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,日大本) ((熊大本,紅梅本),日大本) ((熊大本,紅梅本),日大本) ((熊大本,紅梅本),日大本) (熊大本,紅梅本) (熊大本,紅梅本) ((熊大本,紅梅本),日大本) (熊大本,紅梅本)

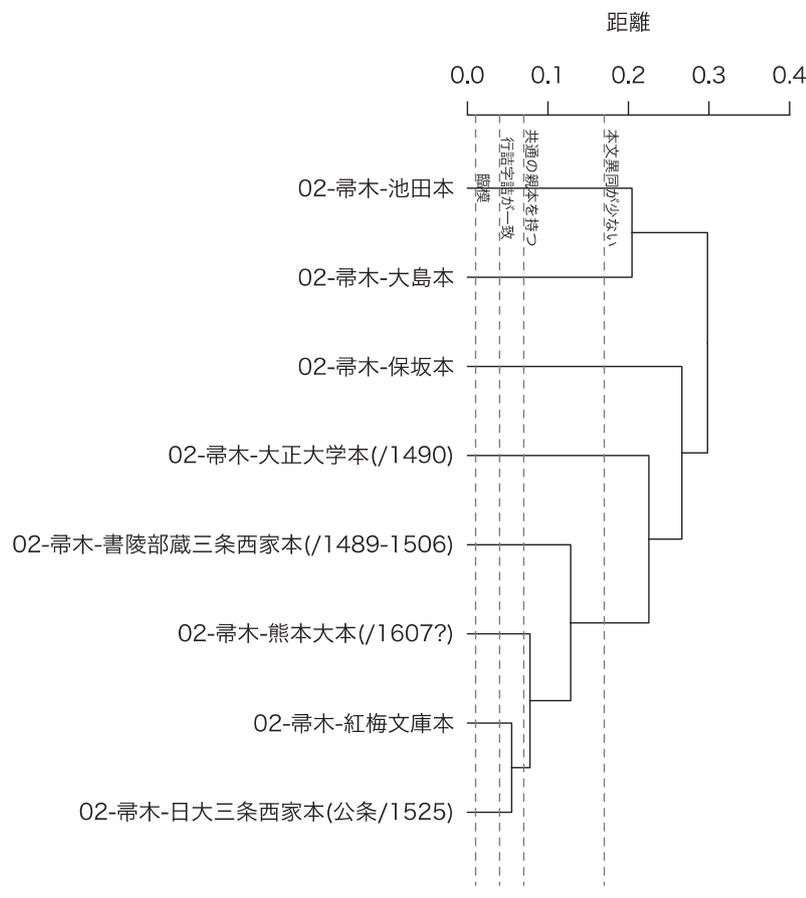
図二 各帖ごとの写本間距離の樹形図

第一帖「桐壺」

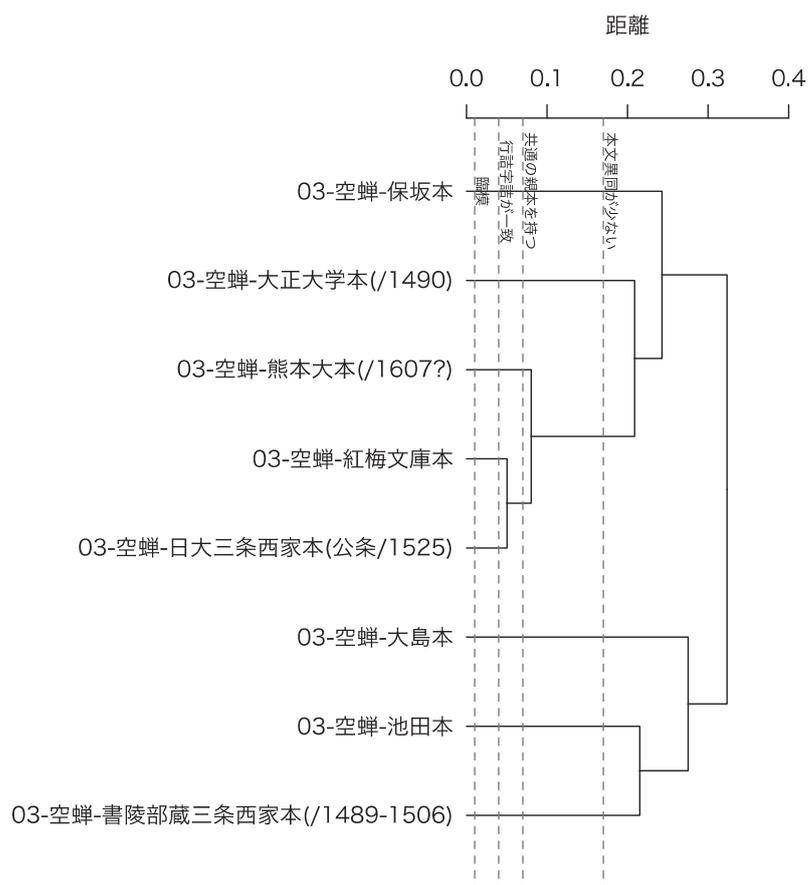


・紅梅本と日大本は字詰や行詰が一致する距離にある。熊大本はそれらの写本と本文異同が少ない距離にある。

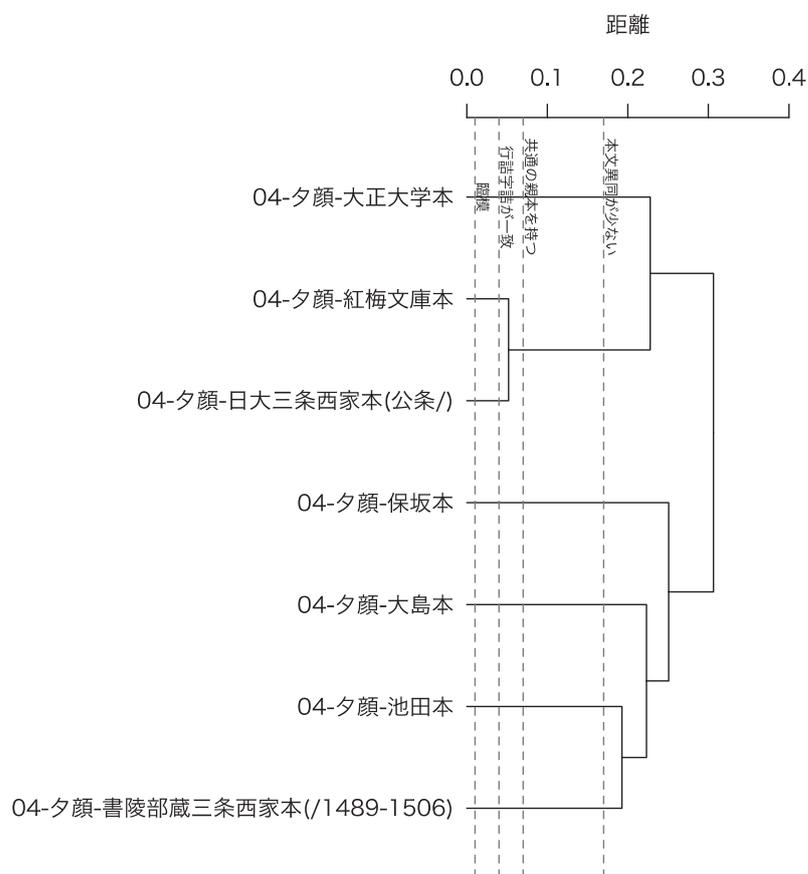
第二帖「帚木」



・紅梅本と日大本は共通の親本を持つ距離にある。熊大本と書陵部本はそれらの写本と本文異同が少ない距離にある。

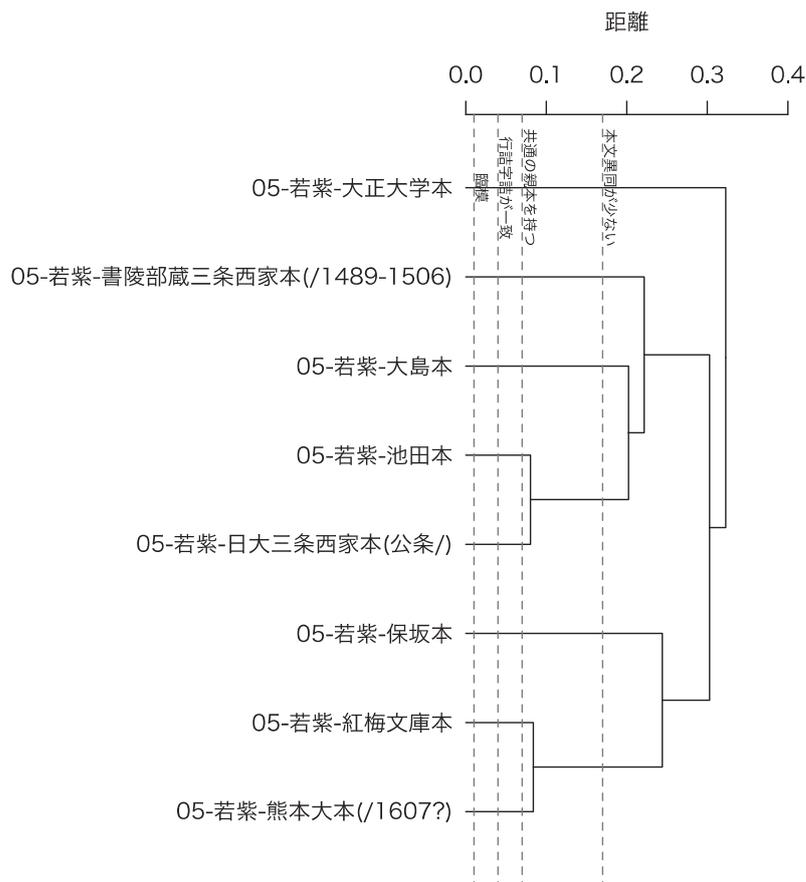


● 紅梅本と日大本は共通の親本を持つ距離にある。熊本はそれらの写本と本文異同が少ない距離にある。



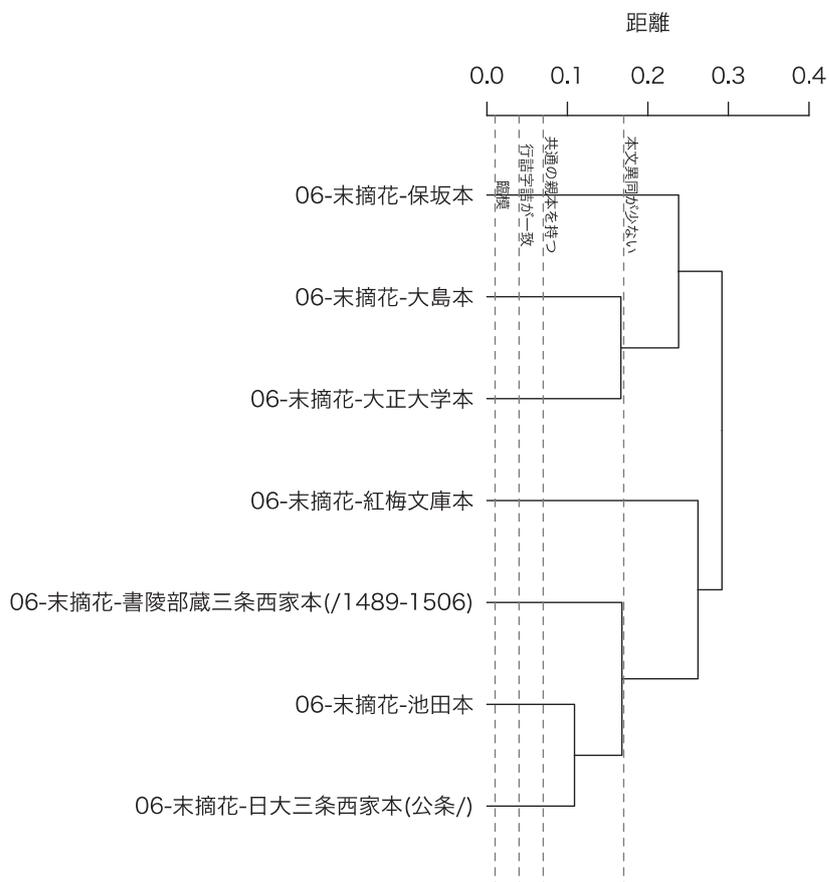
● 紅梅本と日大本は共通の親本を持つ距離にある。

第五帖「若紫」



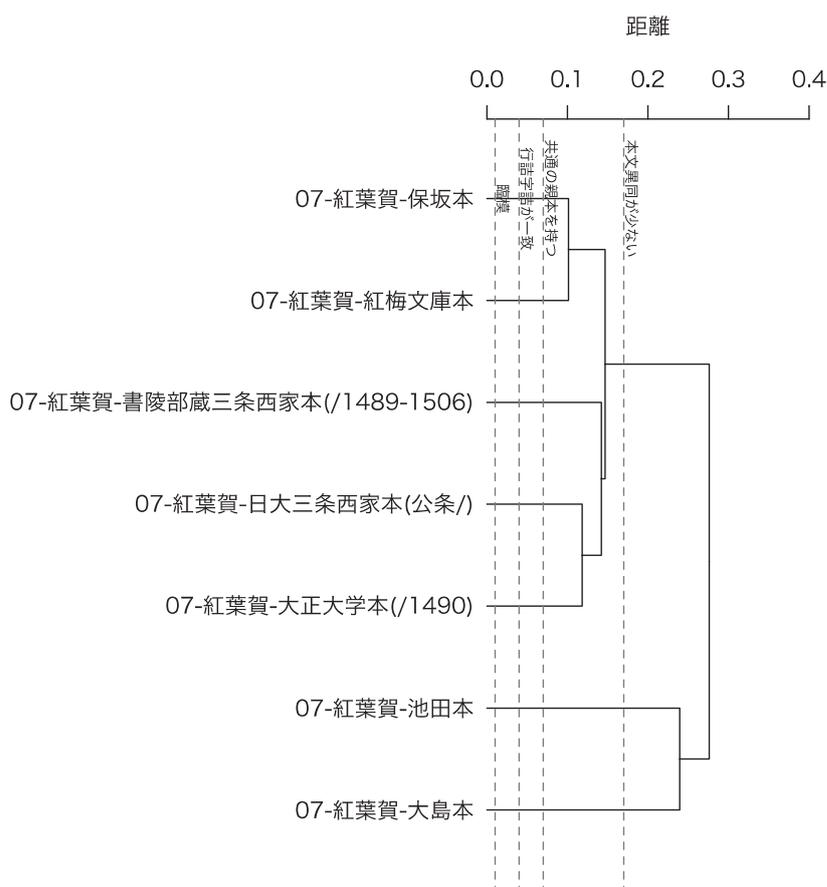
- 池田本と日大本は本文異同が少ない距離にある。
- 紅梅本と熊大本は本文異同が少ない距離にある。

第六帖「未摘花」



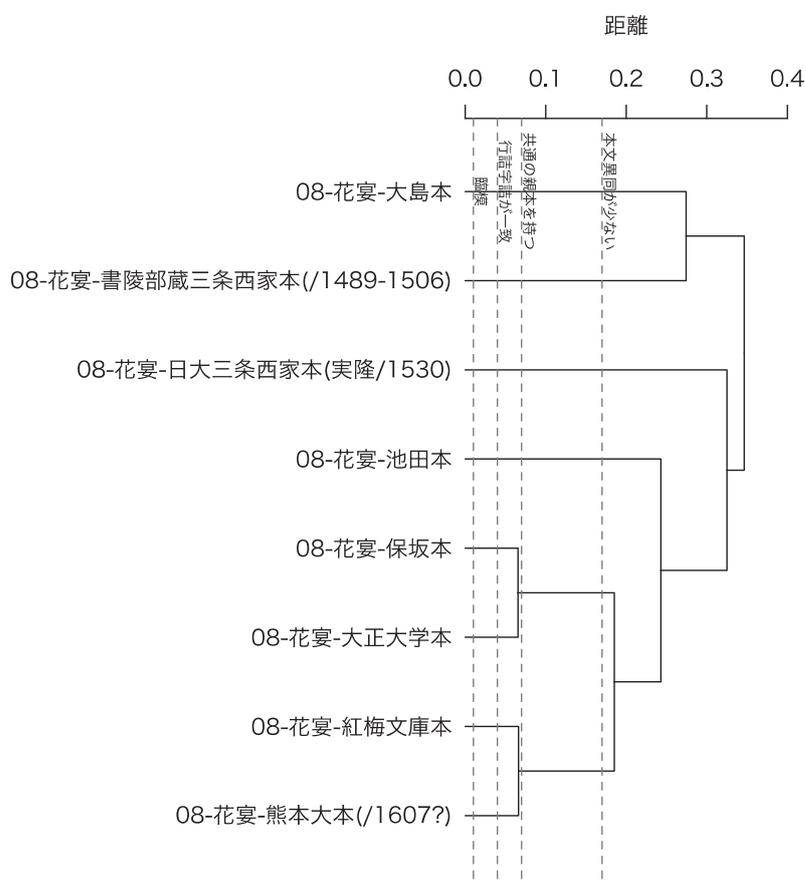
- 大島本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。
- 池田本と日大本、書陵部本は本文異同が少ない距離にある。

第七帖「紅葉賀」



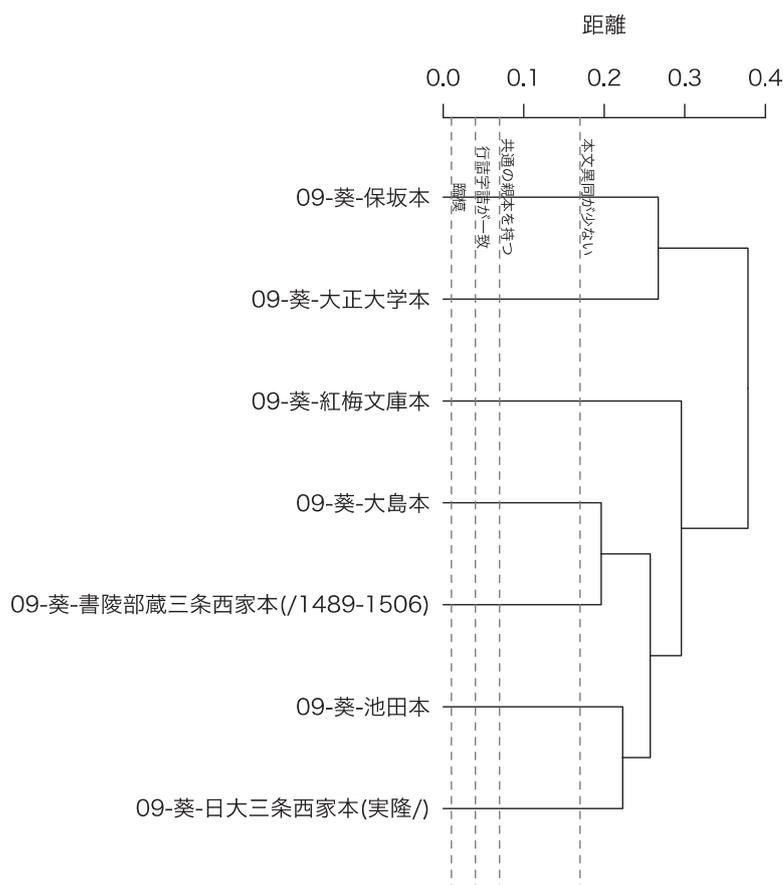
• 日大本と大正大本、書陵部本、保坂本は本文異同が少ない距離にある。

第八帖「花宴」



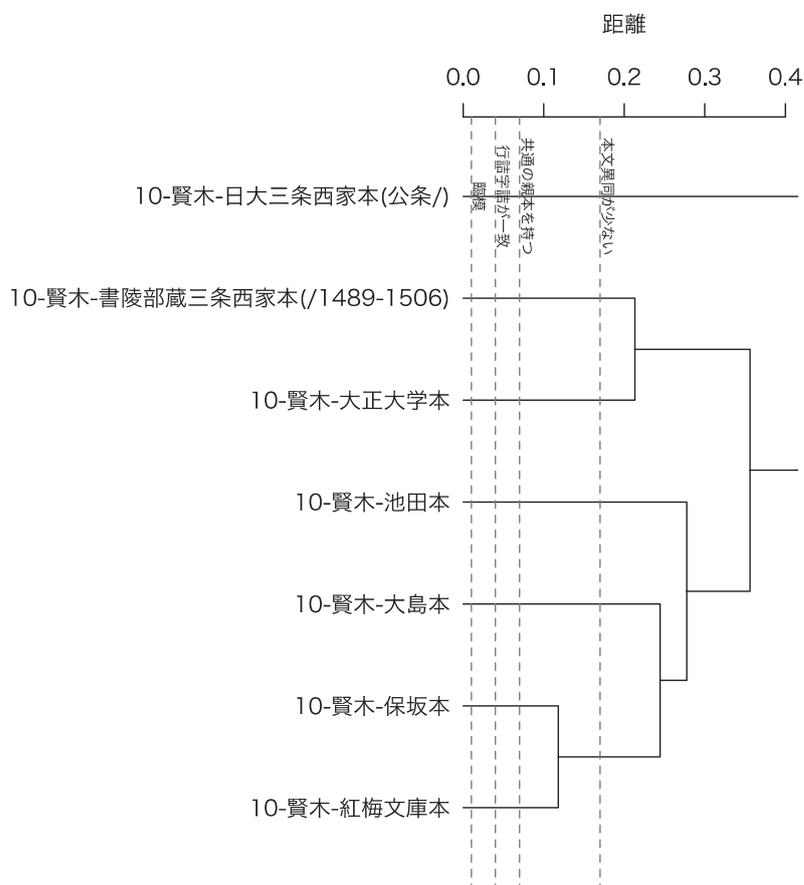
• 保坂本と大正大本は共通の親本を持つ距離にある。
• 紅梅本と熊本大本は共通の親本を持つ距離にある。

第九帖「葵」



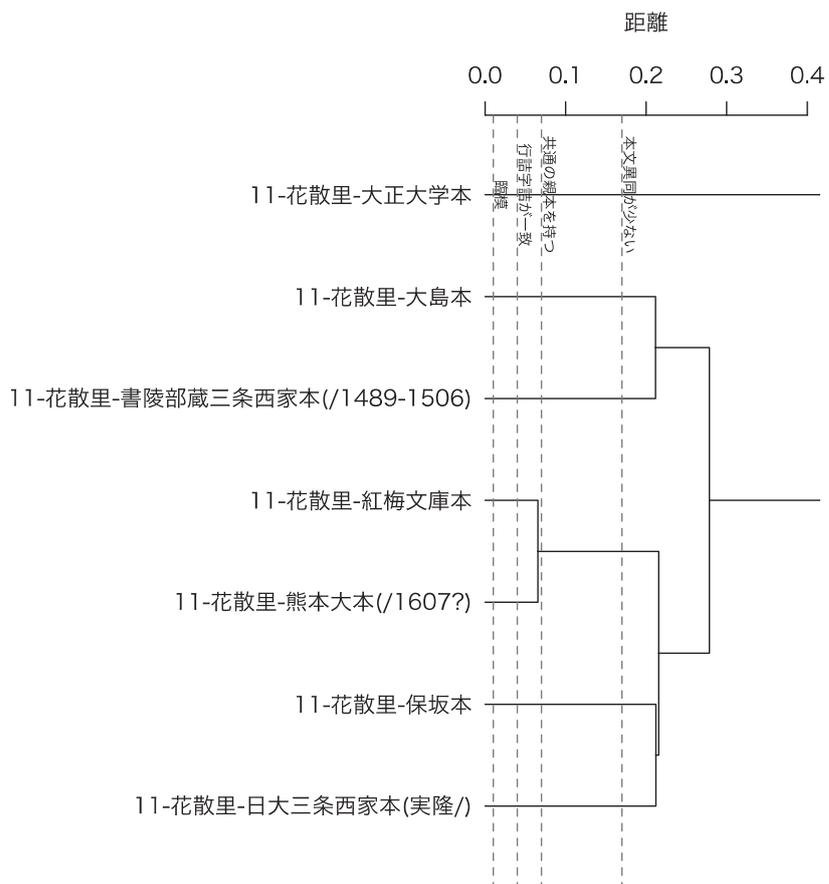
• 本文が類似する写本は存在しない。

第十帖「賢木」



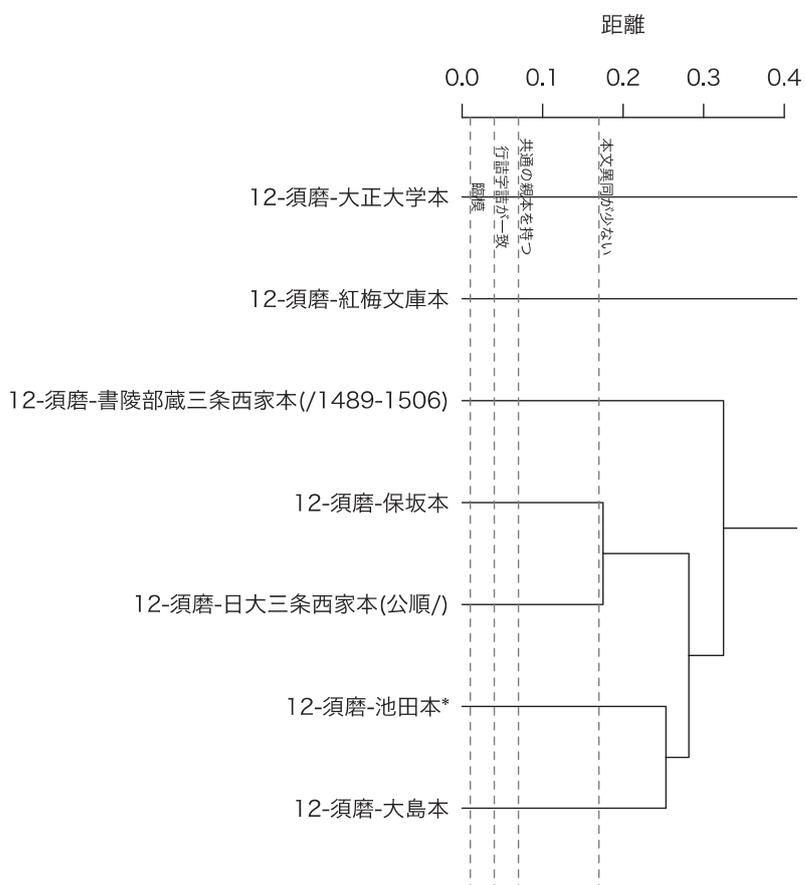
• 保坂本と紅梅本は本文異同が少ない距離にある。

第十一帖「花散里」



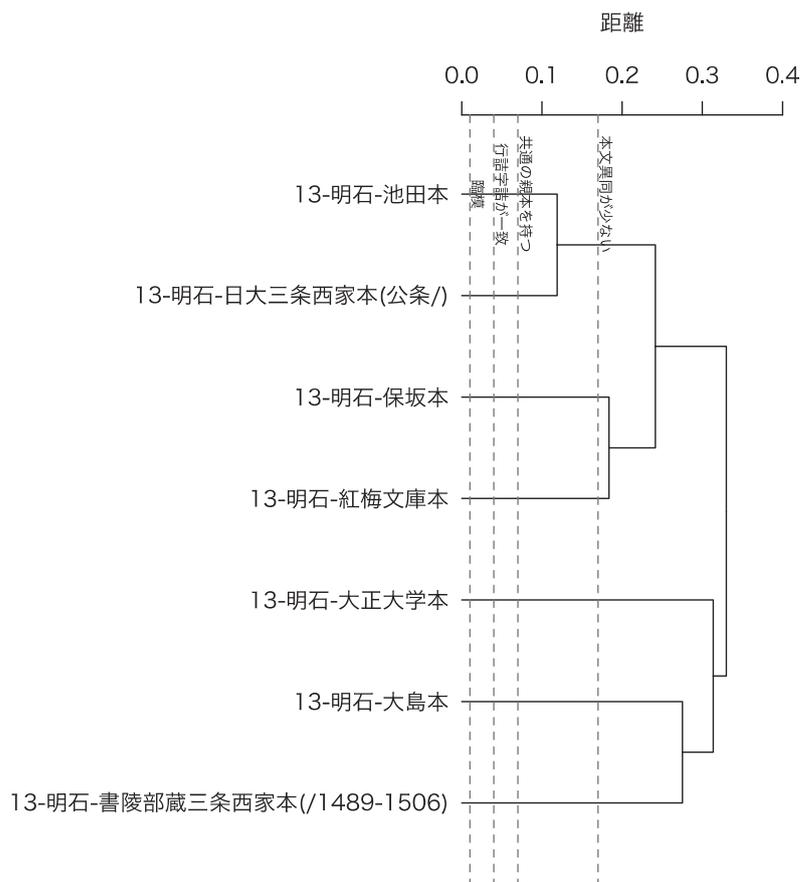
● 紅梅本と熊本大本は共通の親本を持つ距離にある。

第十二帖「須磨」



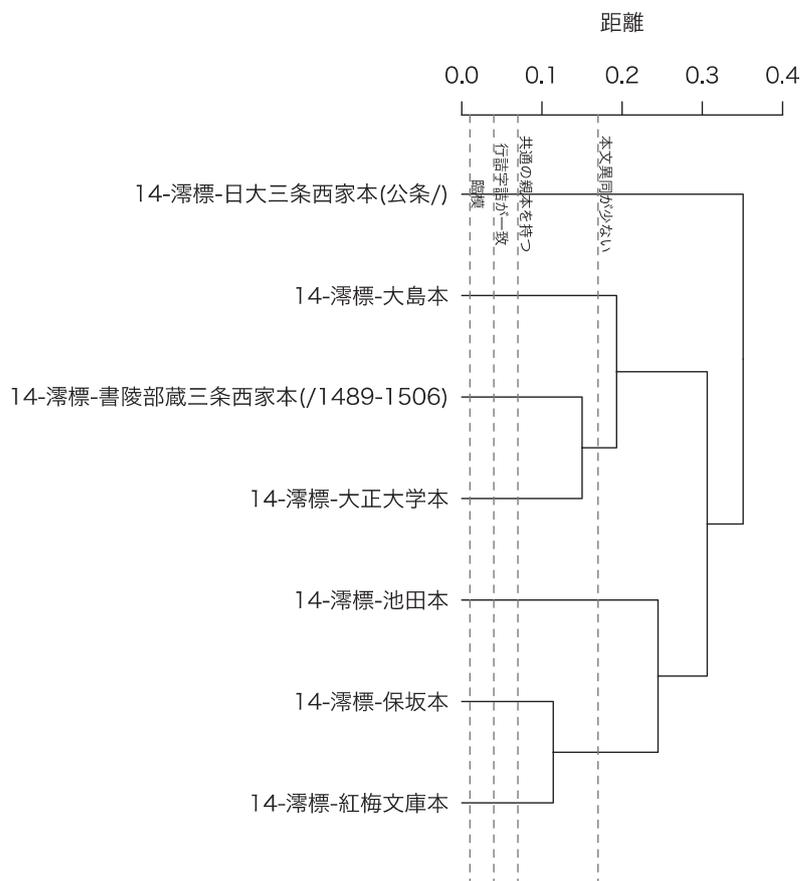
● 池田本には調査対象範囲の本文に脱落がある。

第十三帖「明石」



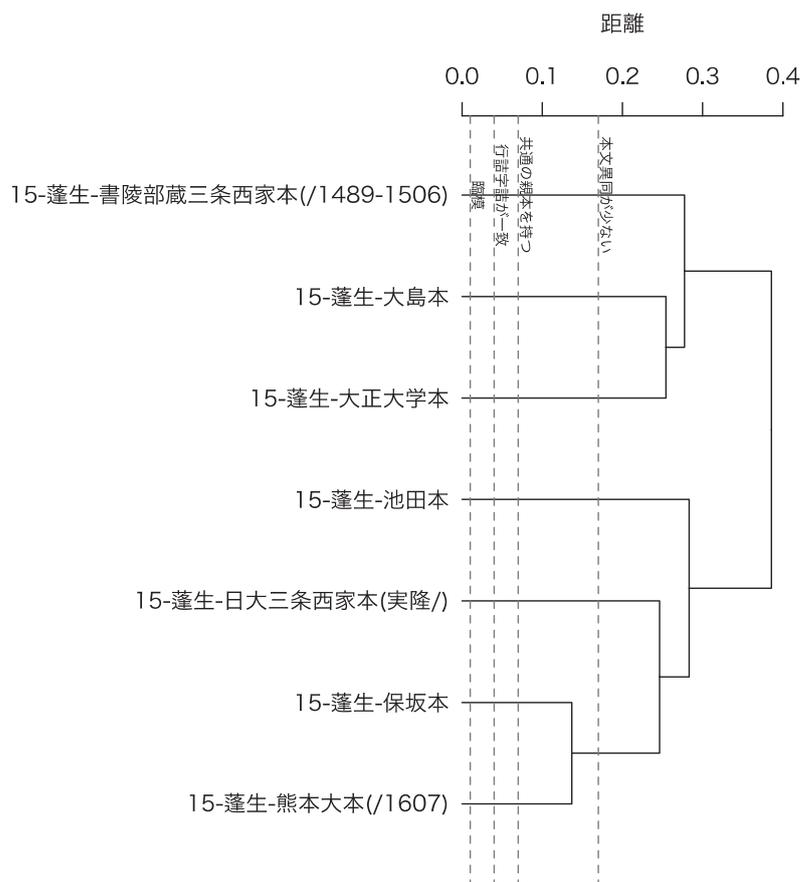
● 池田本と日大本は本文異同が少ない距離にある。

第十四帖「澁標」



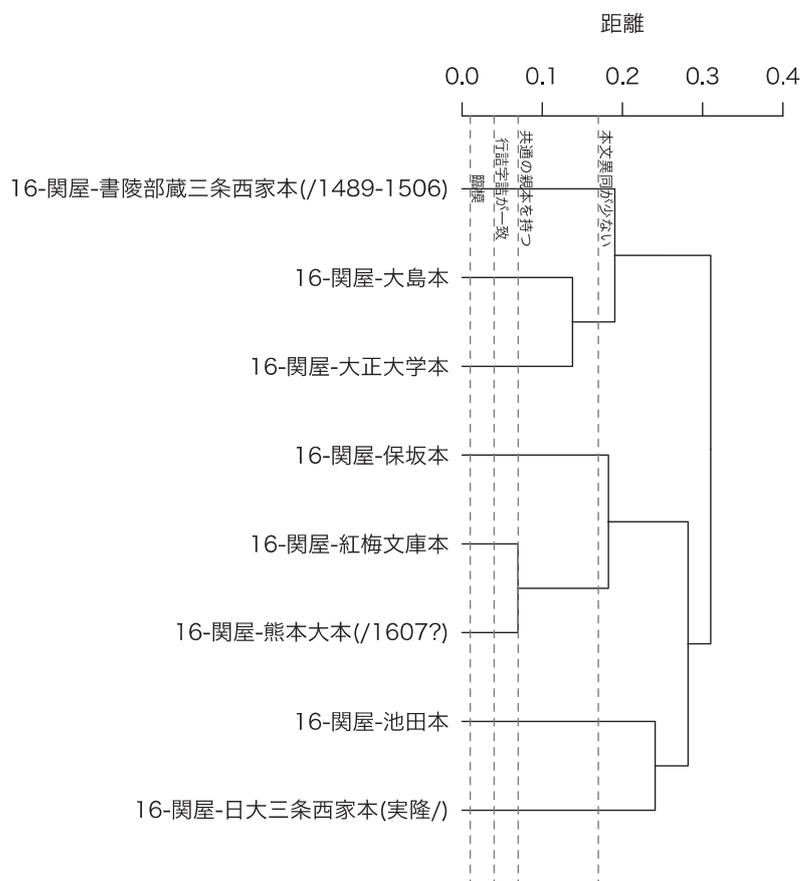
● 書陵部本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。
● 保坂本と紅梅本は本文異同が少ない距離にある。

第十五帖「蓬生」



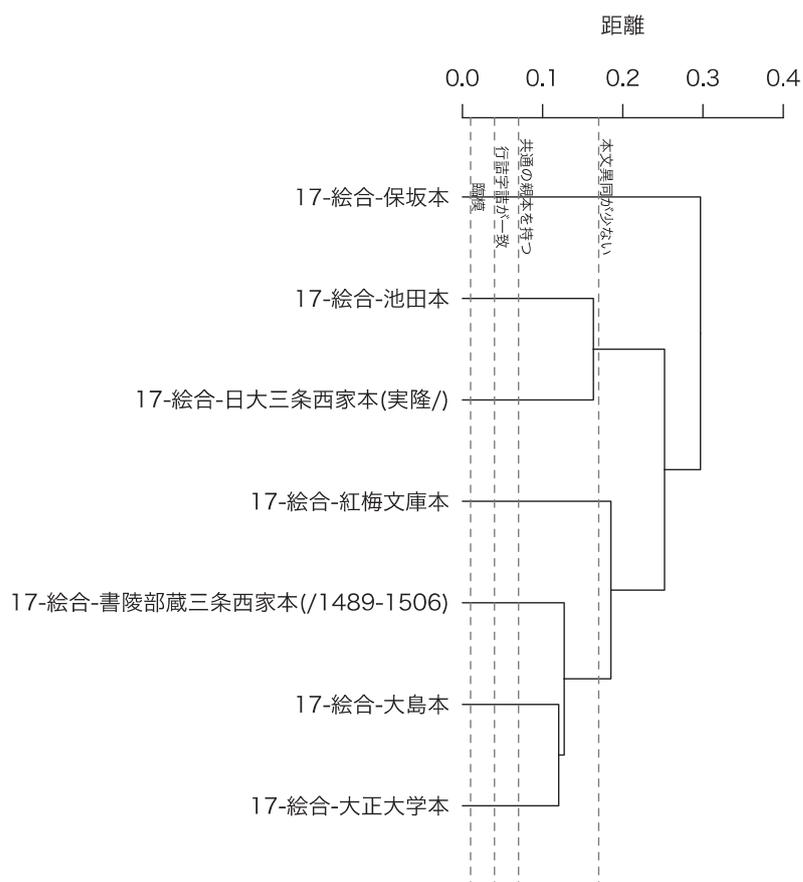
• 保坂本と熊本大本は本文異同が少ない距離にある。

第十六帖「関屋」



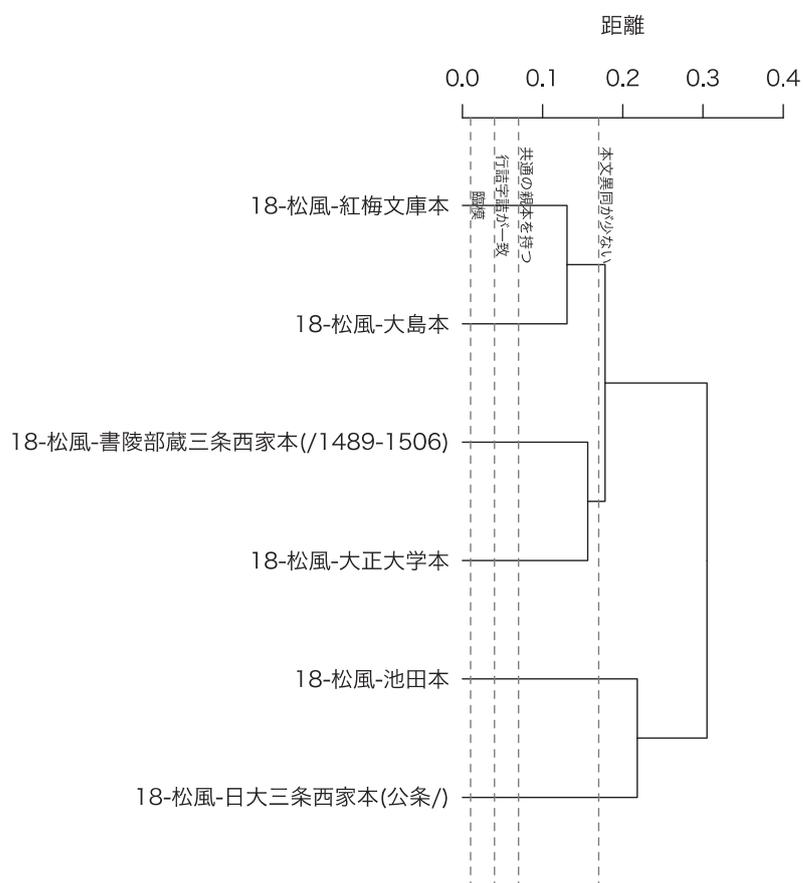
• 大島本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。
 • 紅梅本と熊本大本は共通の親本を持つ距離にある。

第十七帖「絵合」



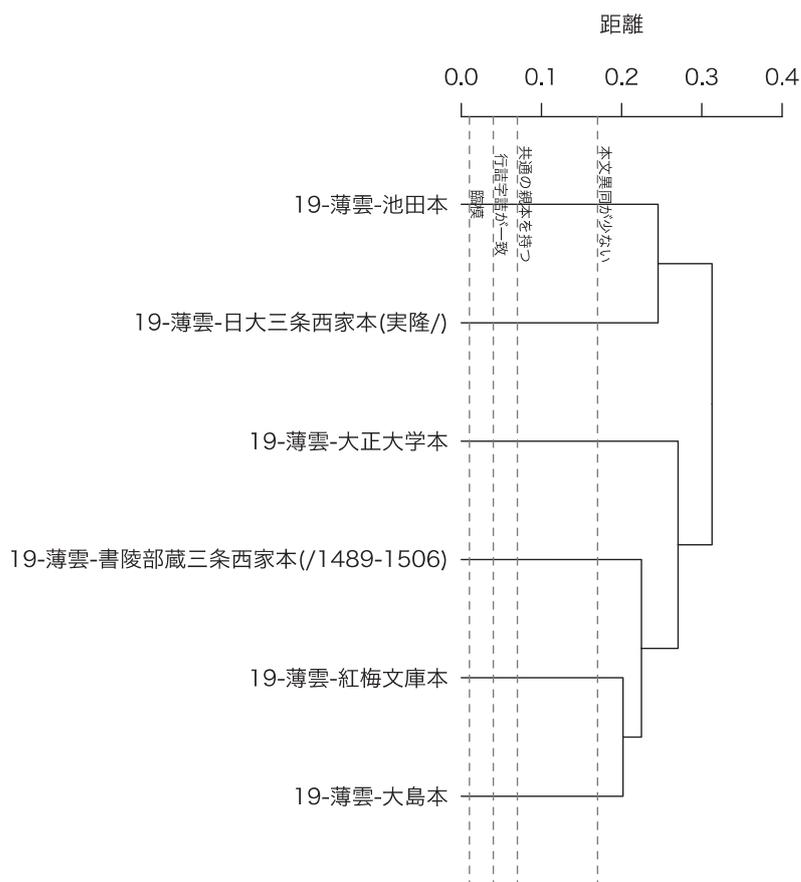
- 池田本と日大本は本文異同が少ない距離にある。
- 大島本と大正大本、書陵部本は本文異同が少ない距離にある。

第十八帖「松風」



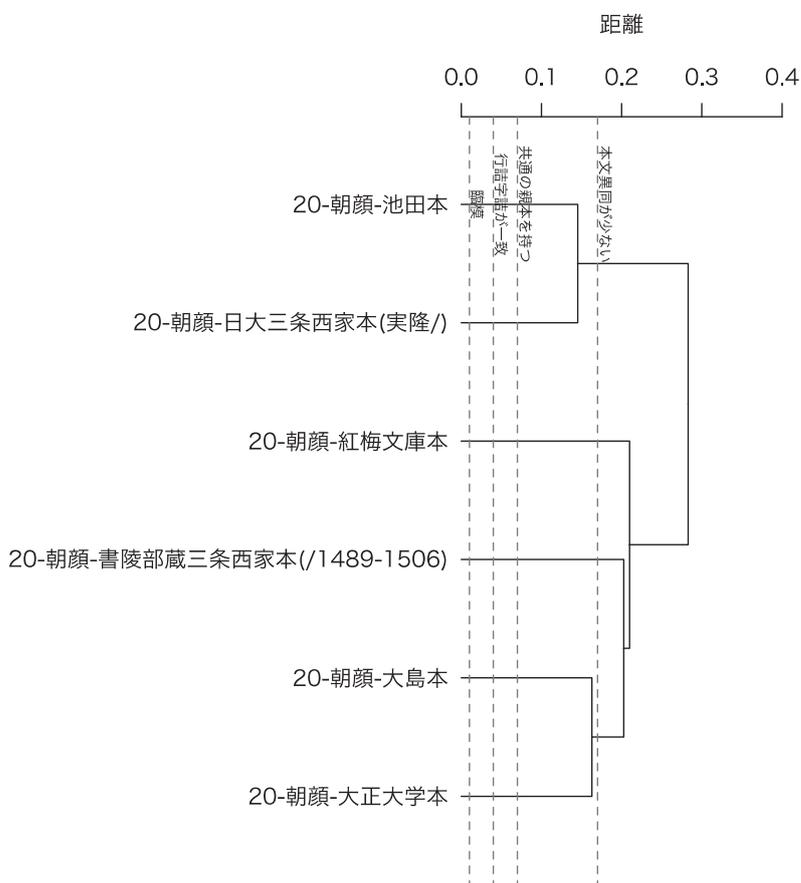
- 紅梅本と大島本は本文異同が少ない距離にある。
- 書陵部本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。

第十九帖「薄雲」



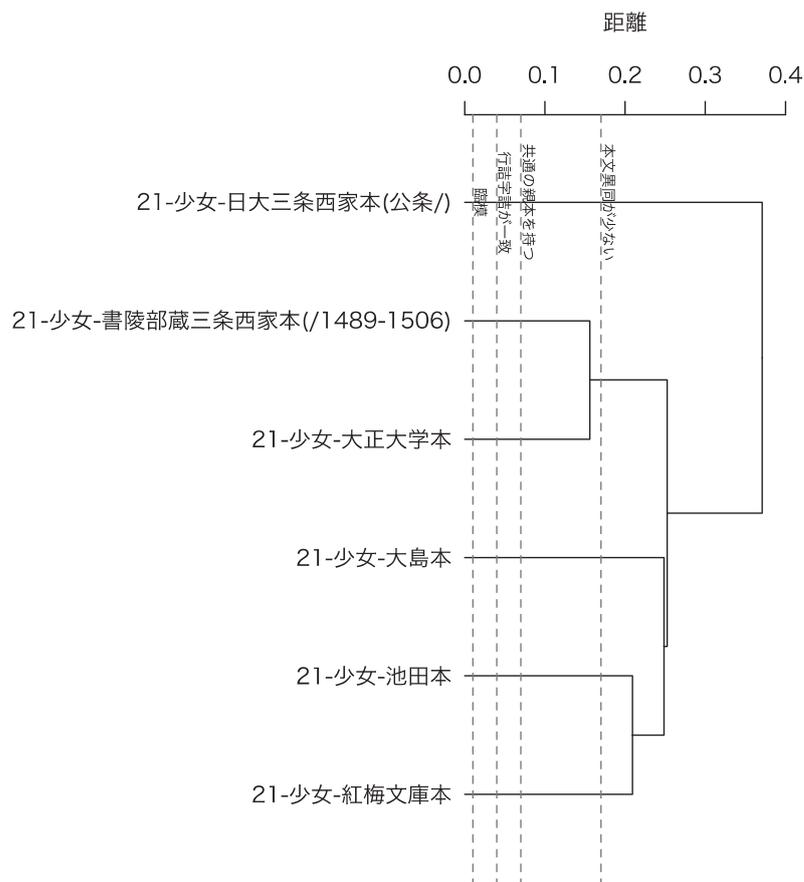
• 本文が類似する写本は存在しない。

第二十帖「朝顔」



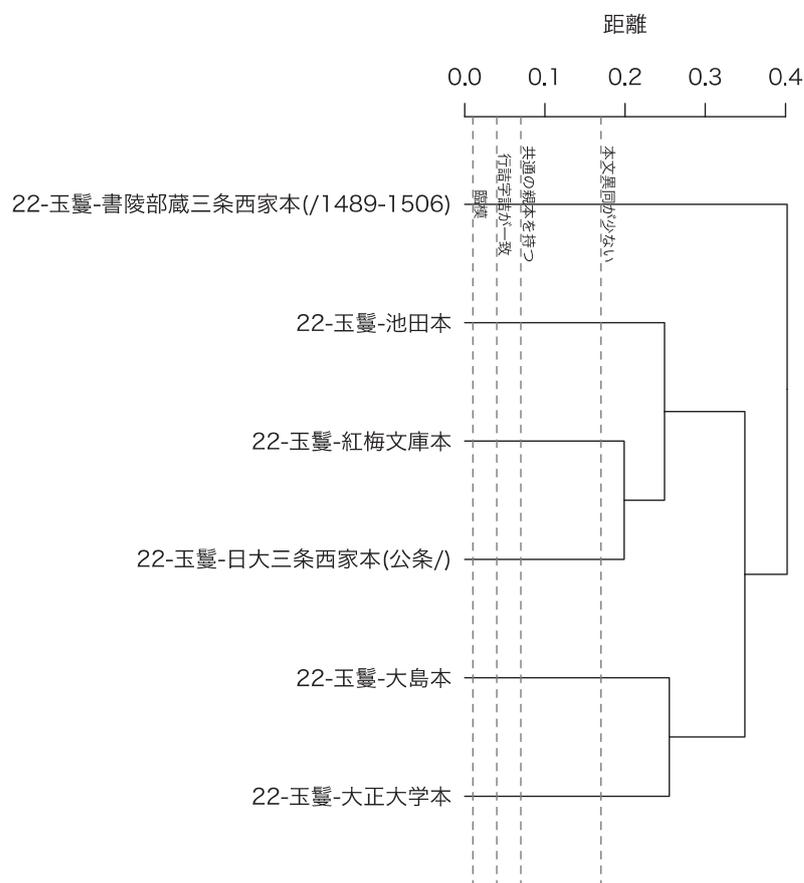
• 池田本と日大本は本文異同が少ない距離にある。
 • 大島本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。

第二十一帖「少女」



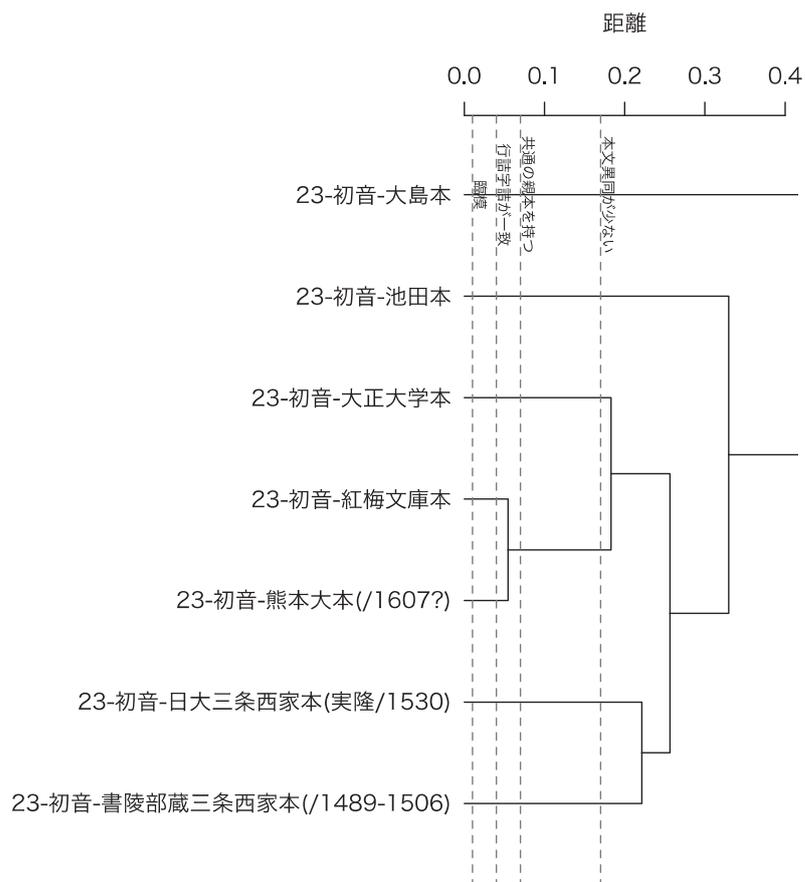
• 書陵部本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。

第二十二帖「玉鬘」



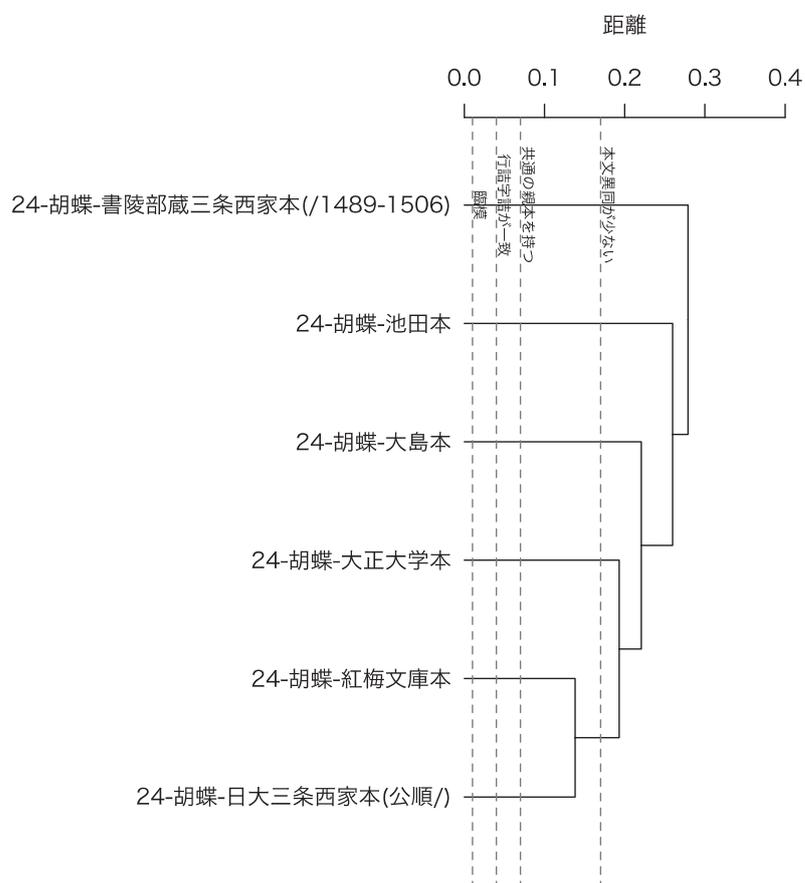
• 本文が類似する写本は存在しない。

第二十三帖「初音」



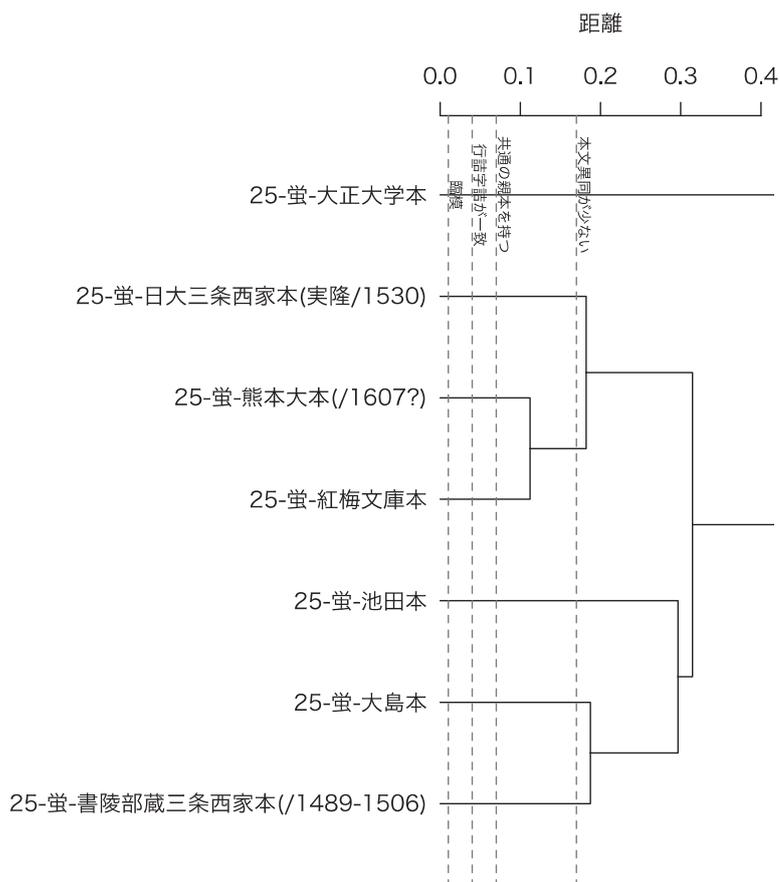
• 紅梅本と熊本大本は共通の親本を持つ距離にある。

第二十四帖「胡蝶」



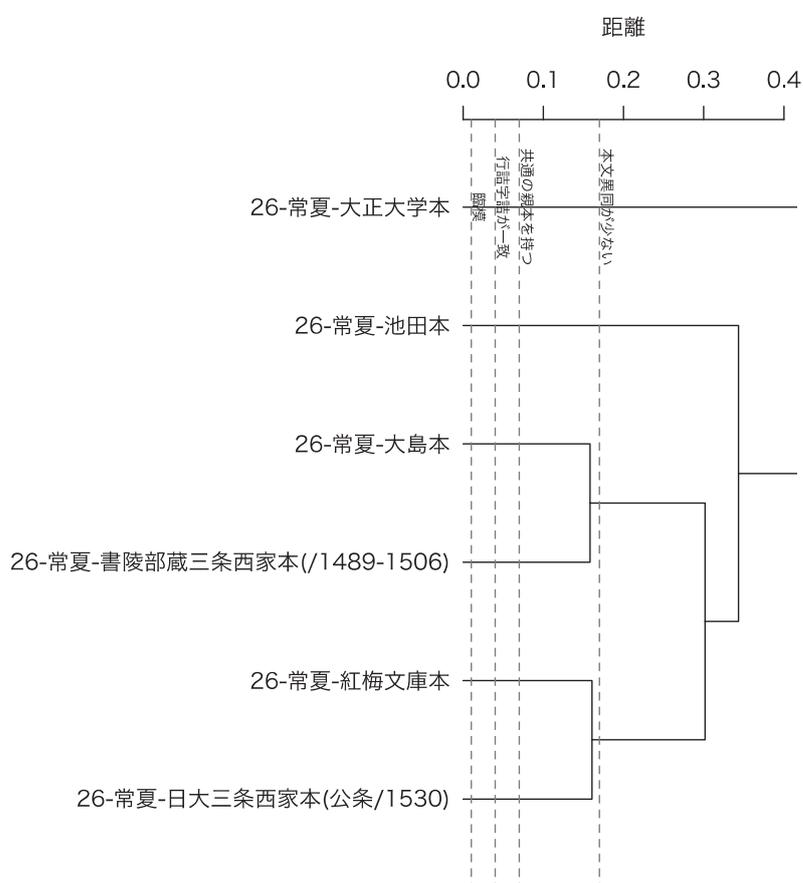
• 紅梅本と日大本は本文異同が少ない距離にある。

第二十五帖「蛭」



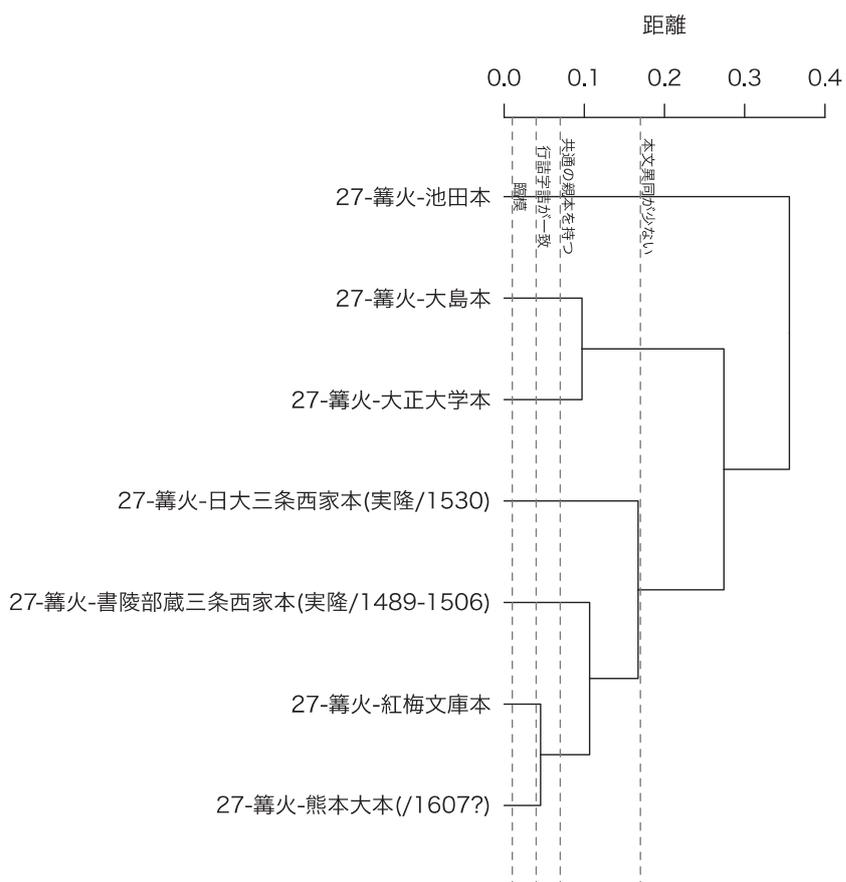
• 熊大本と紅梅本は本文異同が少ない距離にある。

第二十六帖「常夏」



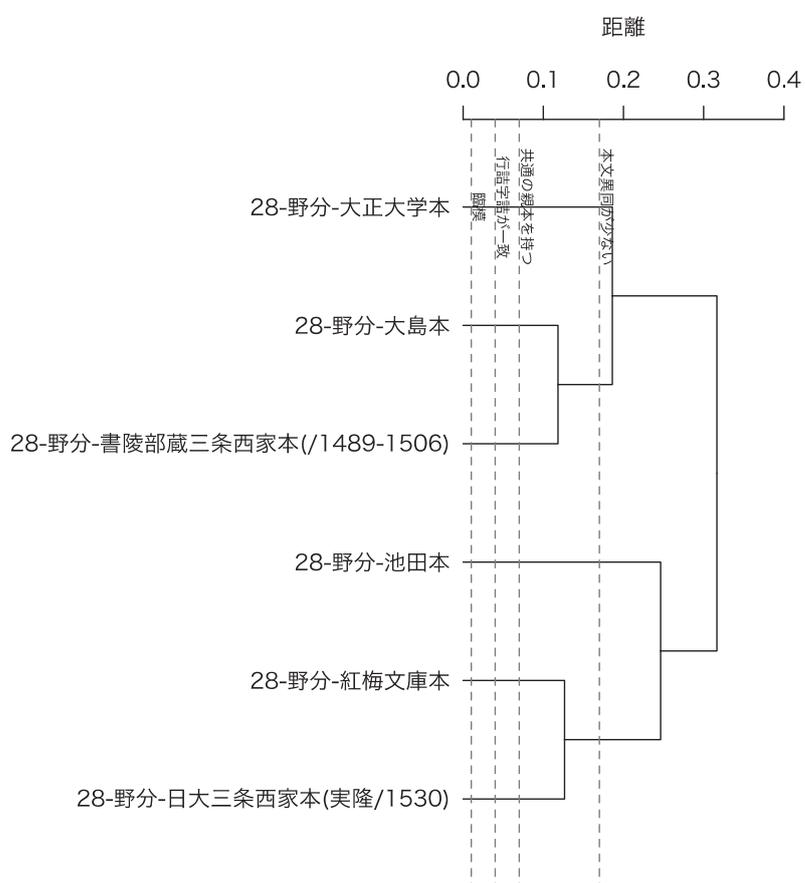
• 大島本と書陵部本は本文異同が少ない距離にある。
 • 紅梅本と日大本は本文異同が少ない距離にある。

第二十七帖「篝火」



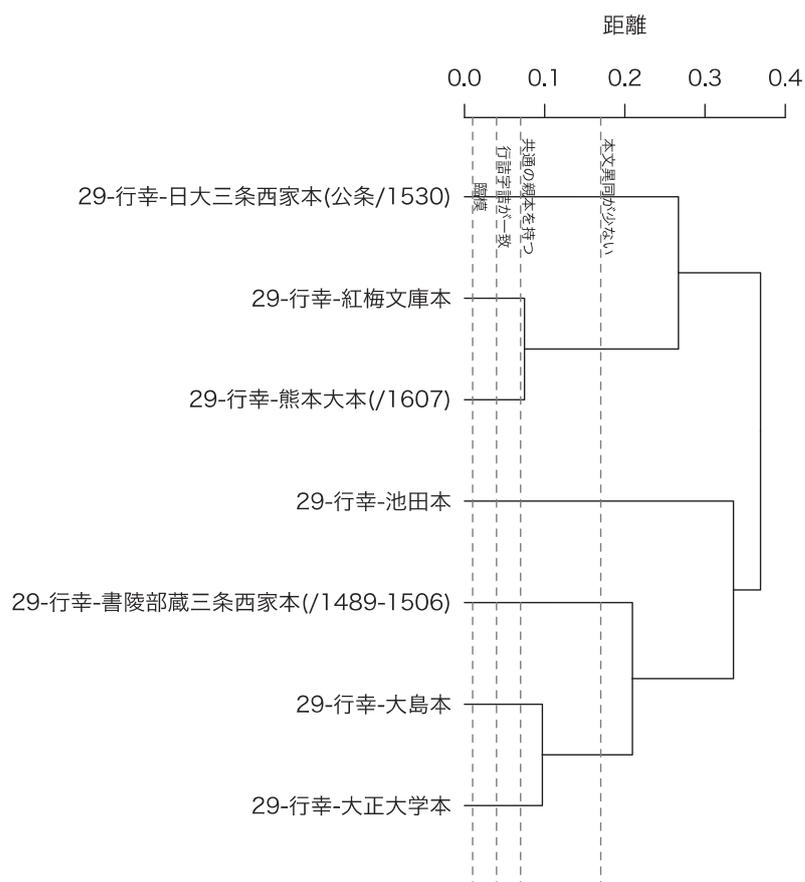
・ 大島本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。
 ・ 紅梅本と熊本本は共通の親本を持つ距離にある。書陵部本はそれらの写本と本文異同が少ない距離にある。

第二十八帖「野分」



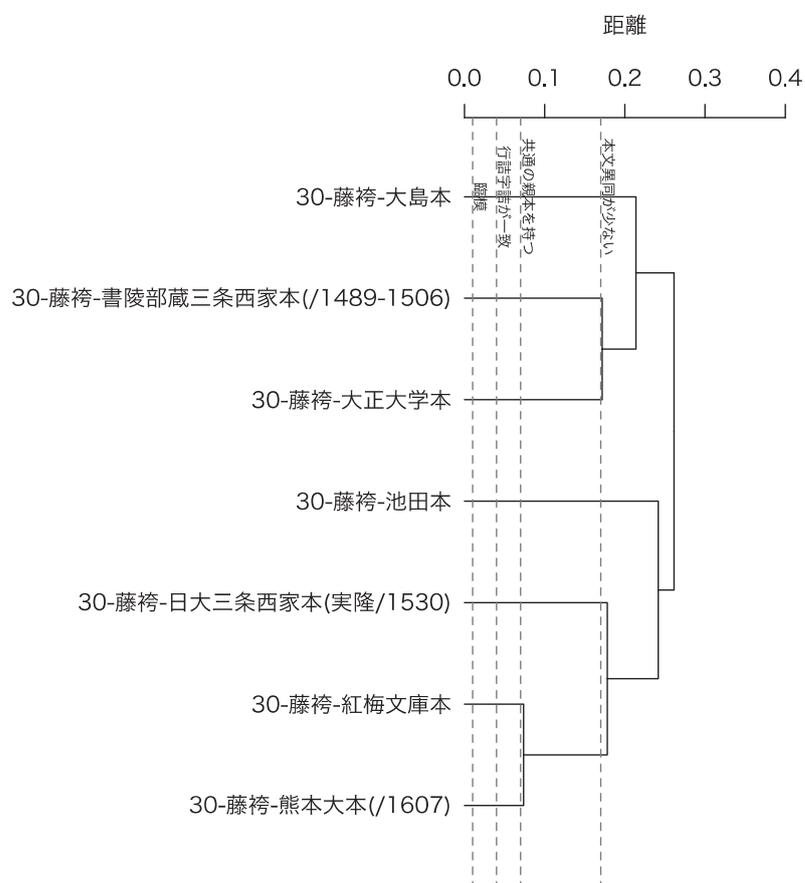
・ 大島本と書陵部本は本文異同が少ない距離にある。
 ・ 紅梅本と日大本は本文異同が少ない距離にある。

第二十九帖「行幸」



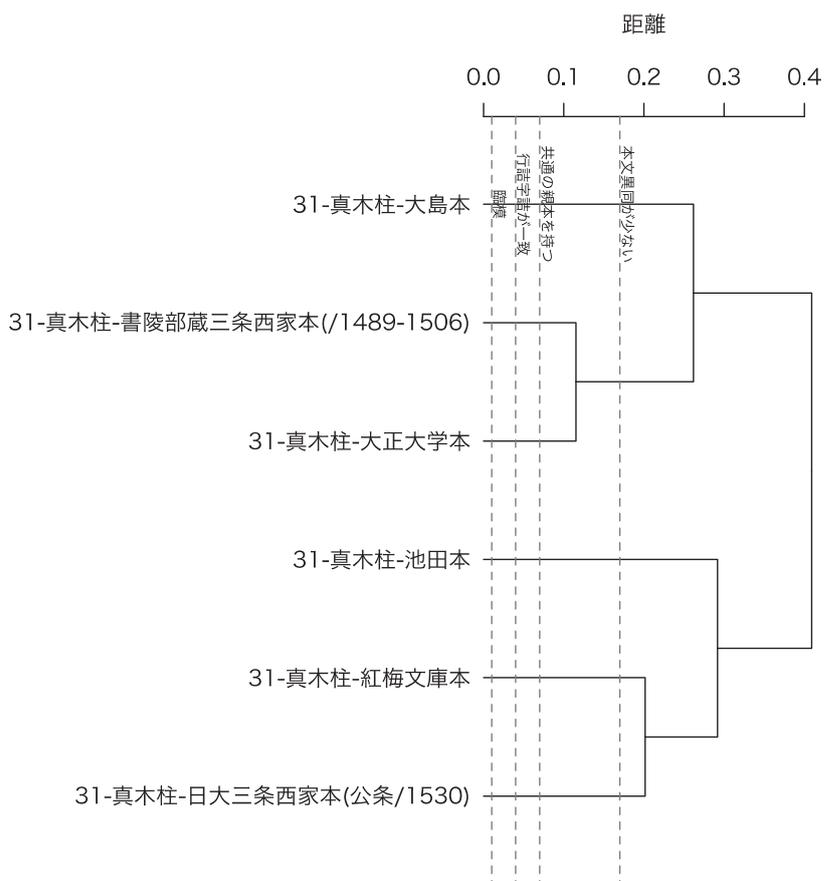
- ・ 紅梅本と熊本本は本文異同が少ない距離にある。
- ・ 大島本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。

第三十帖「藤袴」



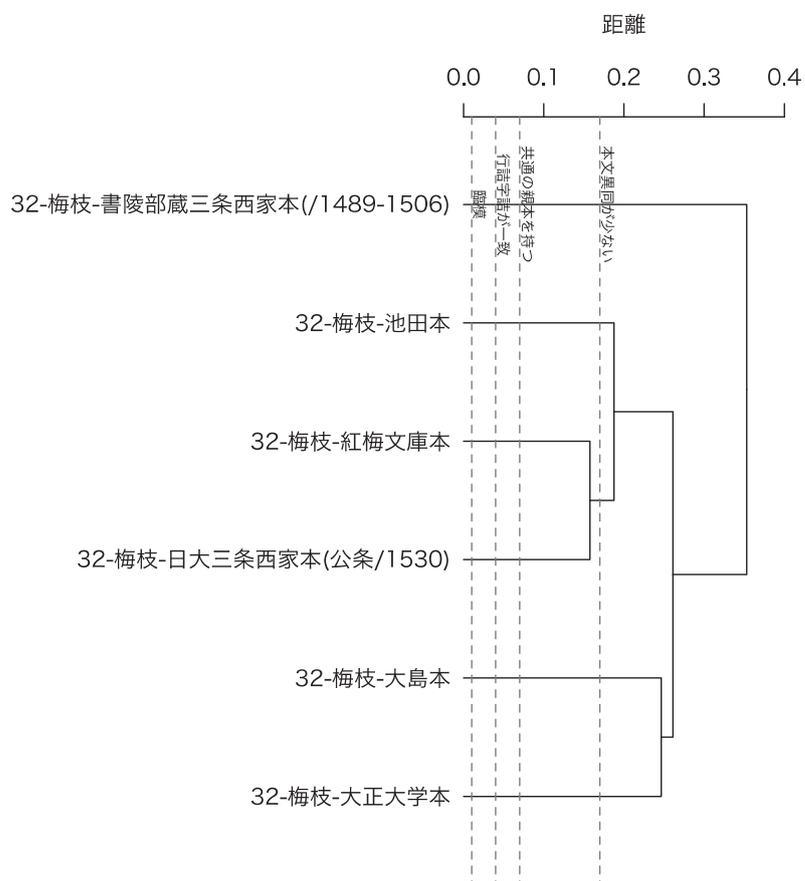
- ・ 紅梅本と熊本本は本文異同が少ない距離にある。

第三十一帖「真木柱」



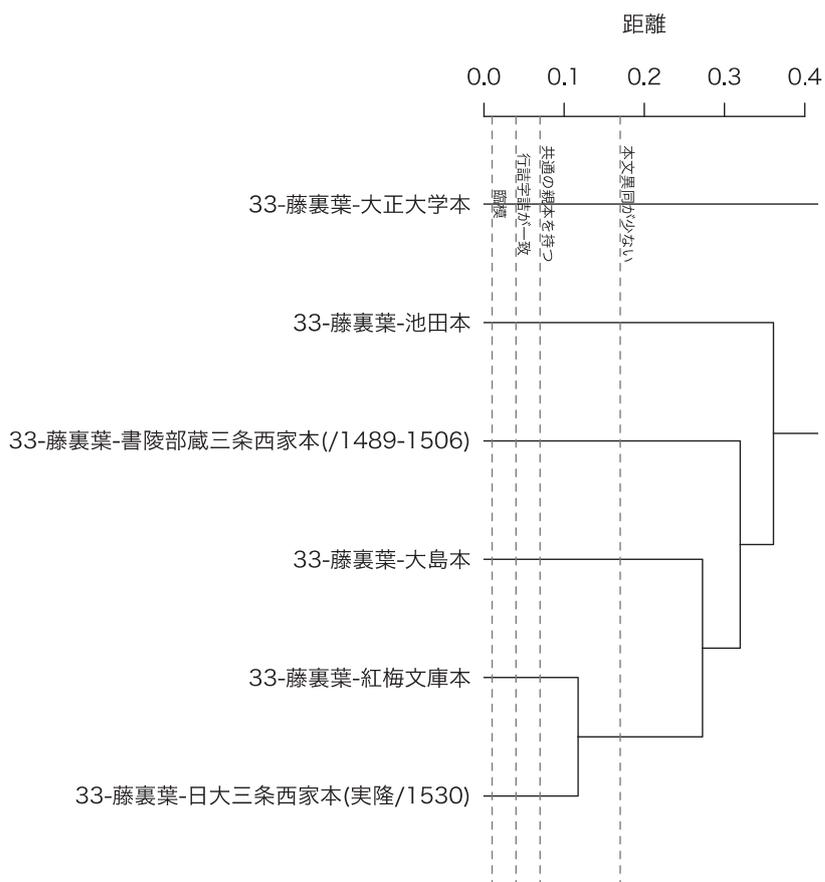
• 書陵部本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。

第三十二帖「梅枝」



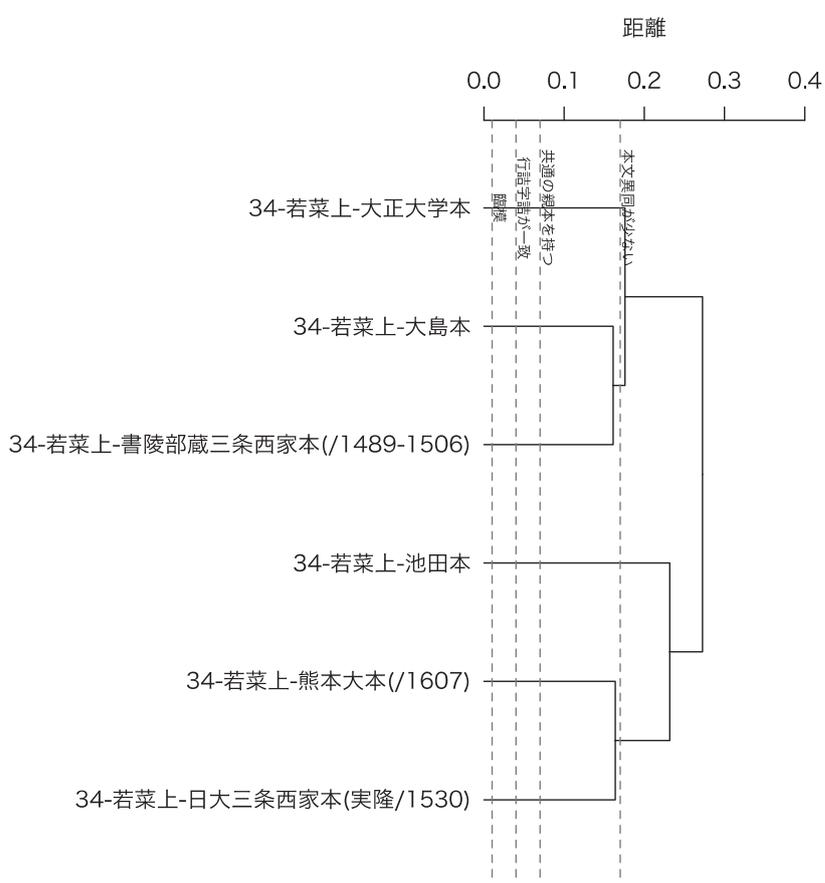
• 紅梅本と日大本は本文異同が少ない距離にある。

第三十三帖「藤裏葉」



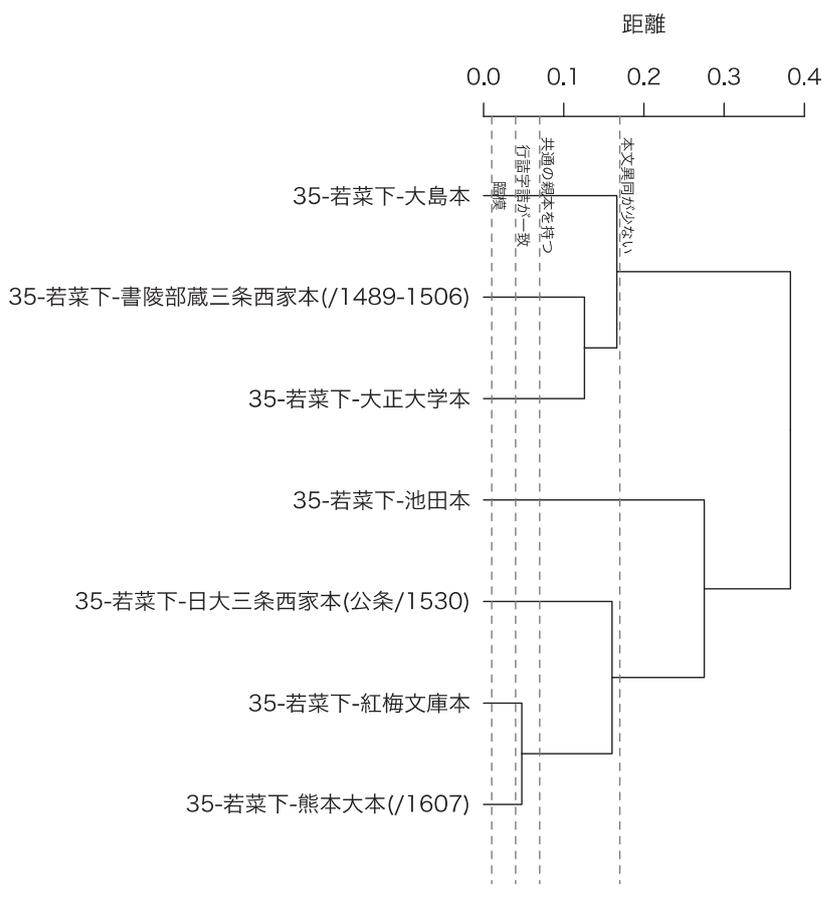
• 紅梅本と日大本は本文異同が少ない距離にある。

第三十四帖「若菜上」



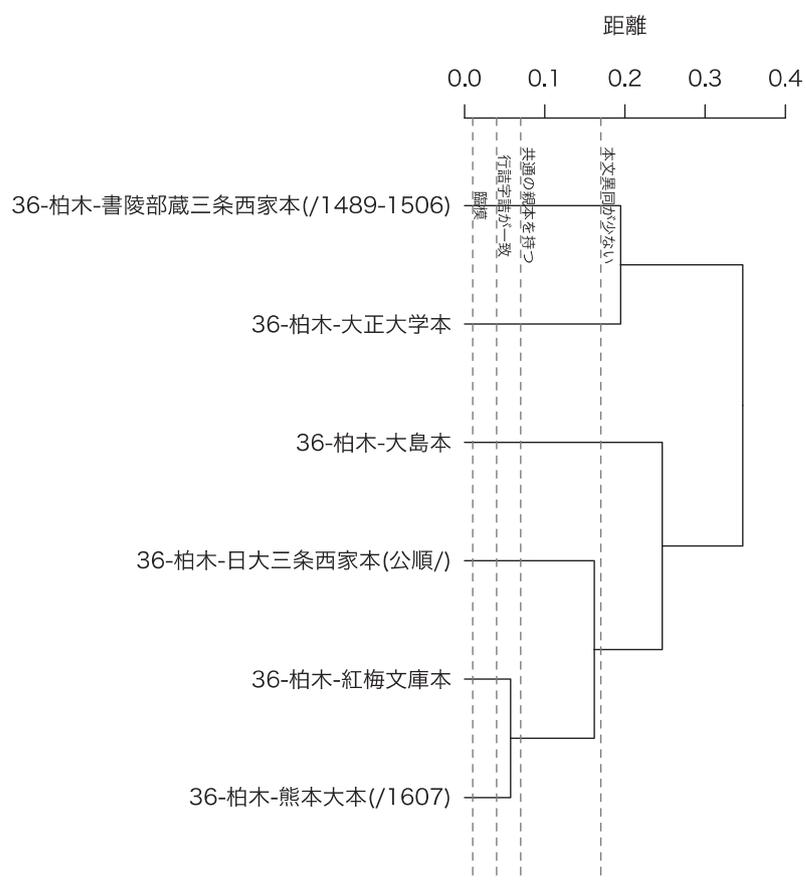
• 大島本と書陵部本は本文異同が少ない距離にある。
 • 熊大本は中院文庫本と日大本と本文異同が少ない距離にある。

第三十五帖「若菜下」



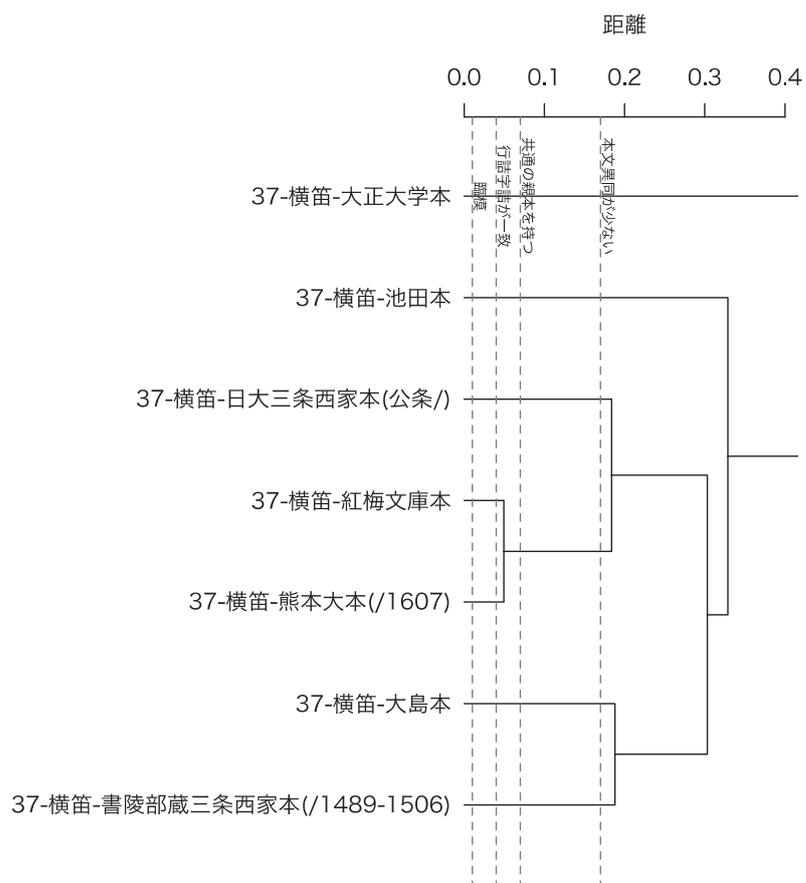
● 書陵部本と大正大本、大島本は本文異同が少ない距離にある。
 ● 紅梅本と熊本大本は共通の親本を持つ距離にある。中院文庫本と日大本は、それらの写本と本文異同が少ない距離にある。

第三十六帖「柏木」



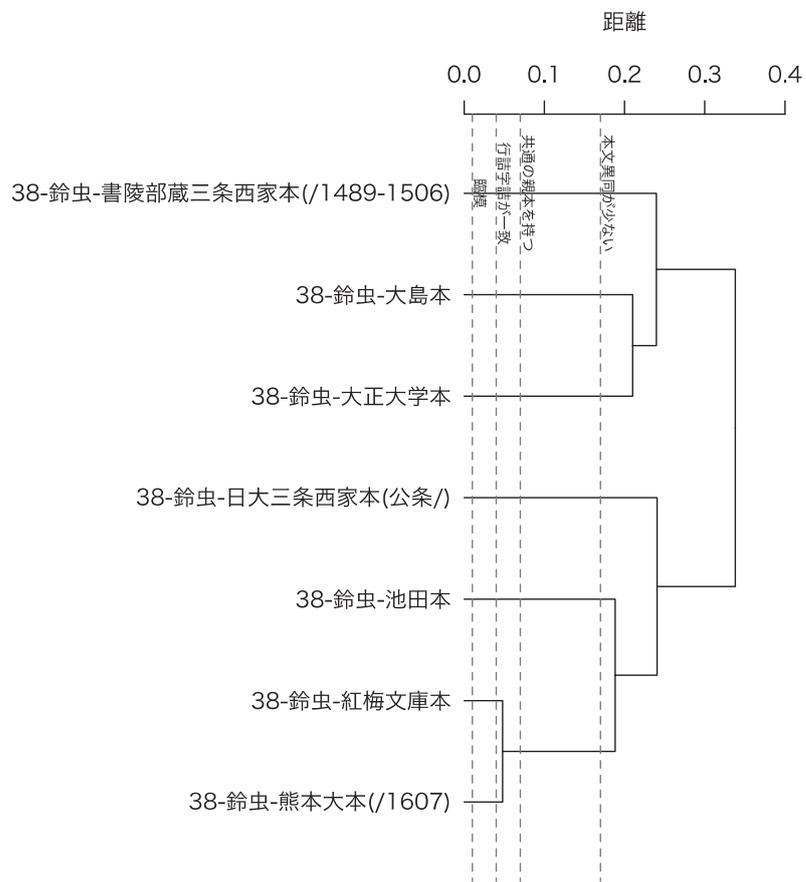
● 紅梅本と熊本大本は共通の親本を持つ距離にある。中院文庫本と日大本は、それらの写本と本文異同が少ない距離にある。

第三十七帖「横笛」



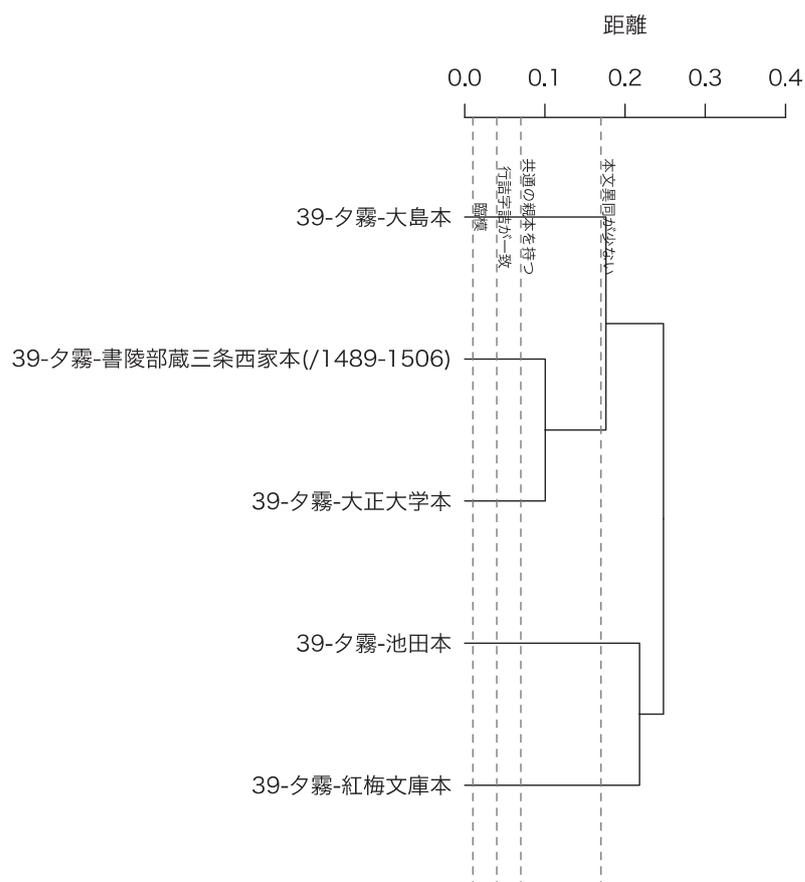
● 紅梅本と熊本本は共通の親本を持つ距離にある。

第三十八帖「鈴虫」



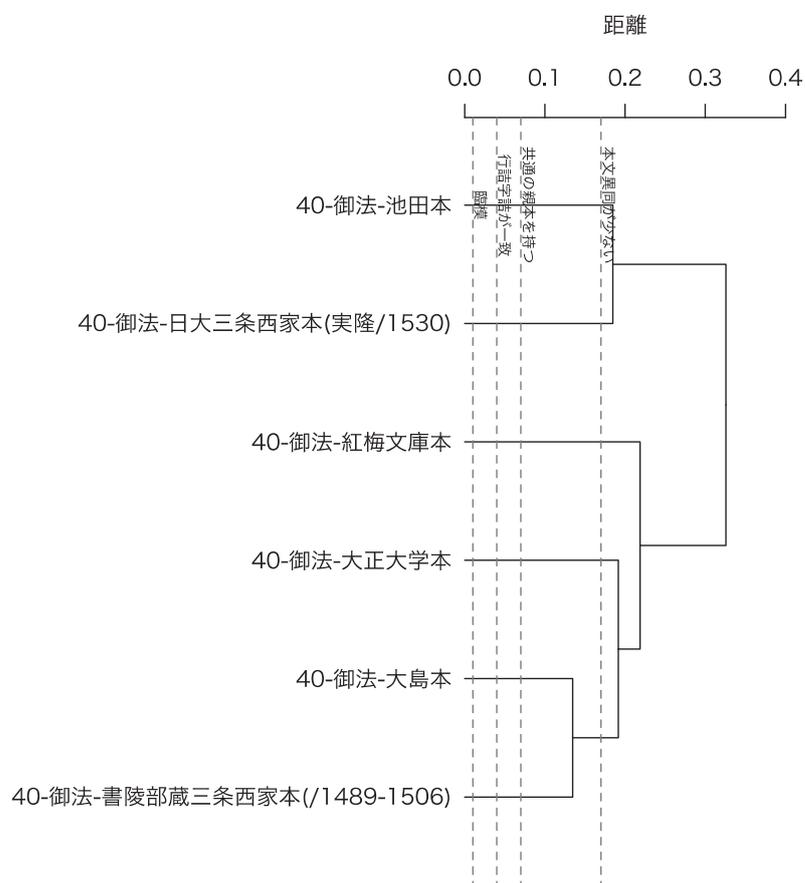
● 紅梅本と熊本本は共通の親本を持つ距離にある。

第三十九帖「夕霧」



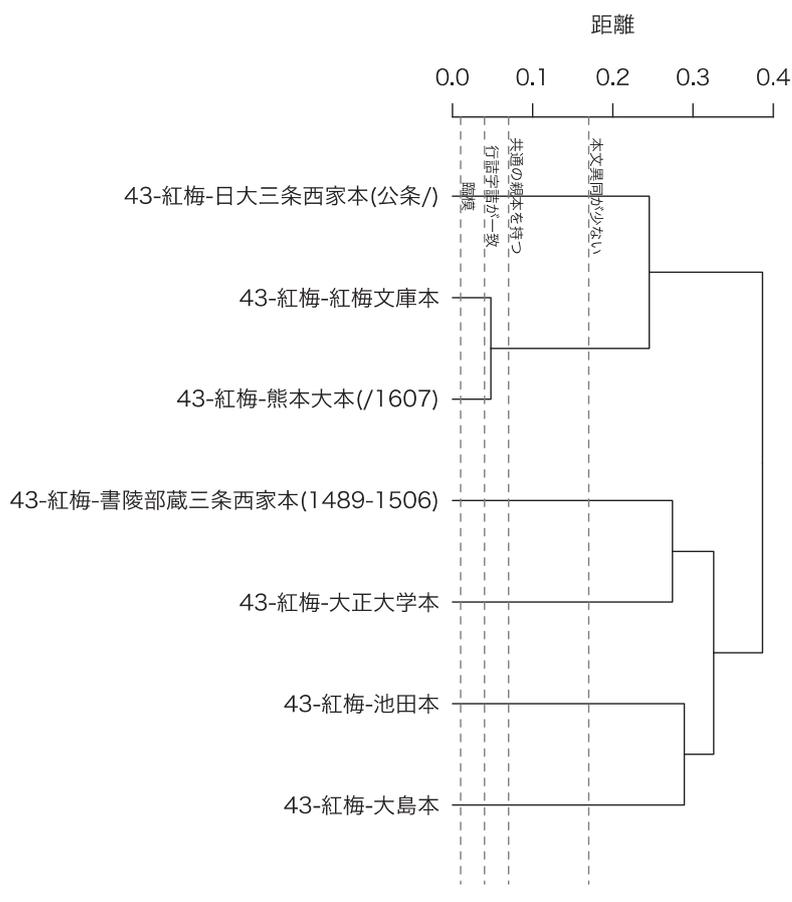
• 書陵部本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。

第四十帖「御法」



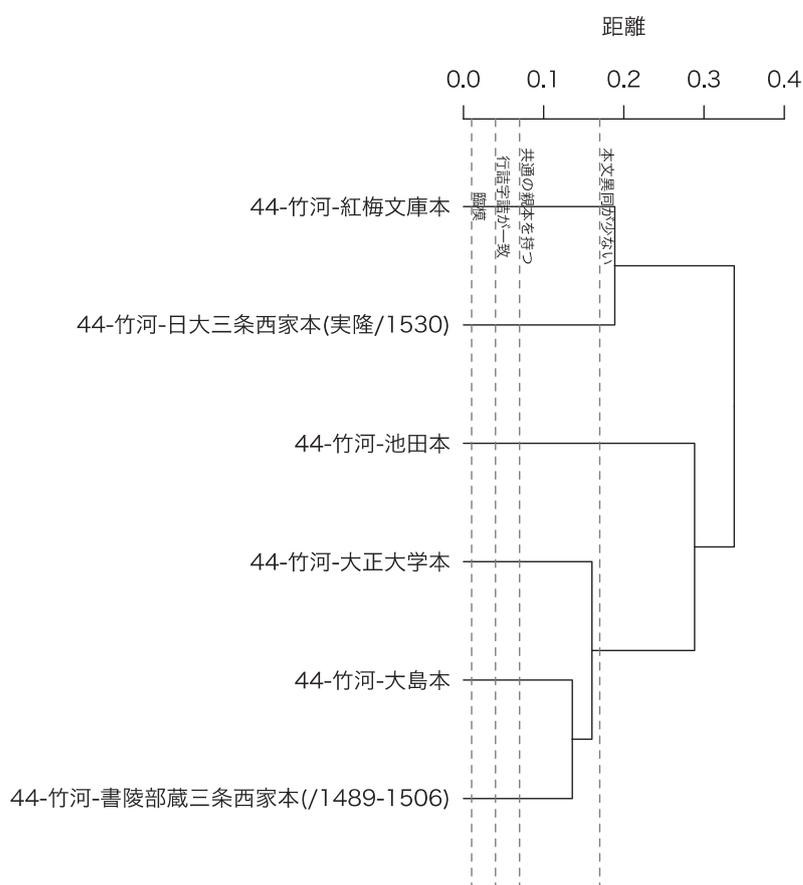
• 大島本と書陵部本は本文異同が少ない距離にある。

第四十三帖「紅梅」



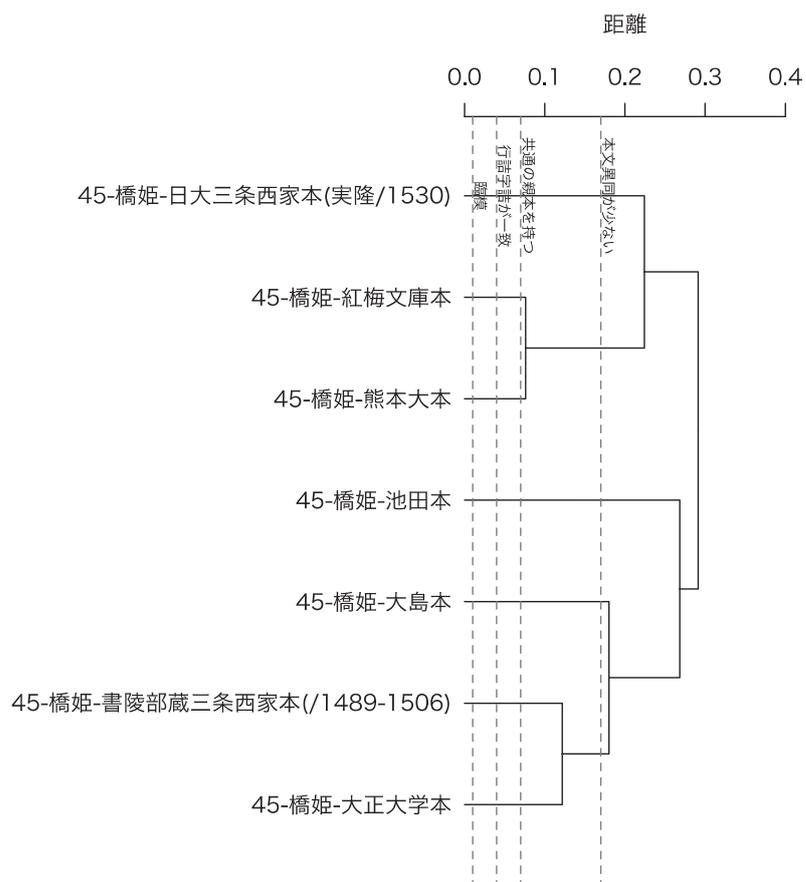
● 紅梅本と熊本本は共通の親本を持つ距離にある。中院文庫本と日大本は、それらの写本と本文異同が少ない距離にある。

第四十四帖「竹河」



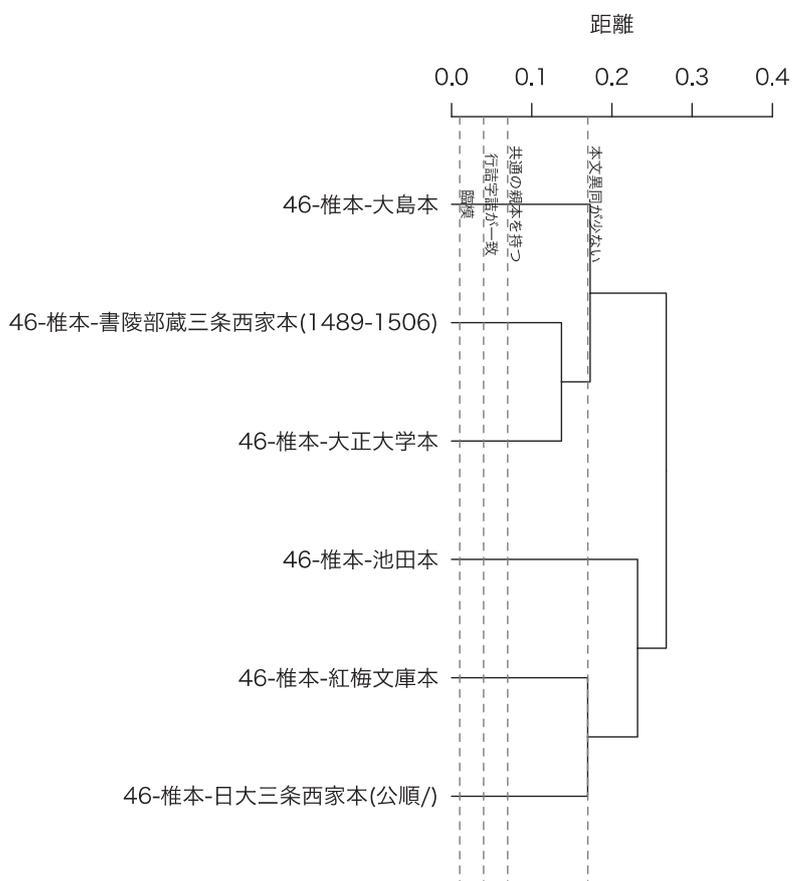
● 大島本と書陵部本は共通の親本を持つ距離にある。大正大本は、それらの写本と本文異同が少ない距離にある。

第四十五帖「橋姫」



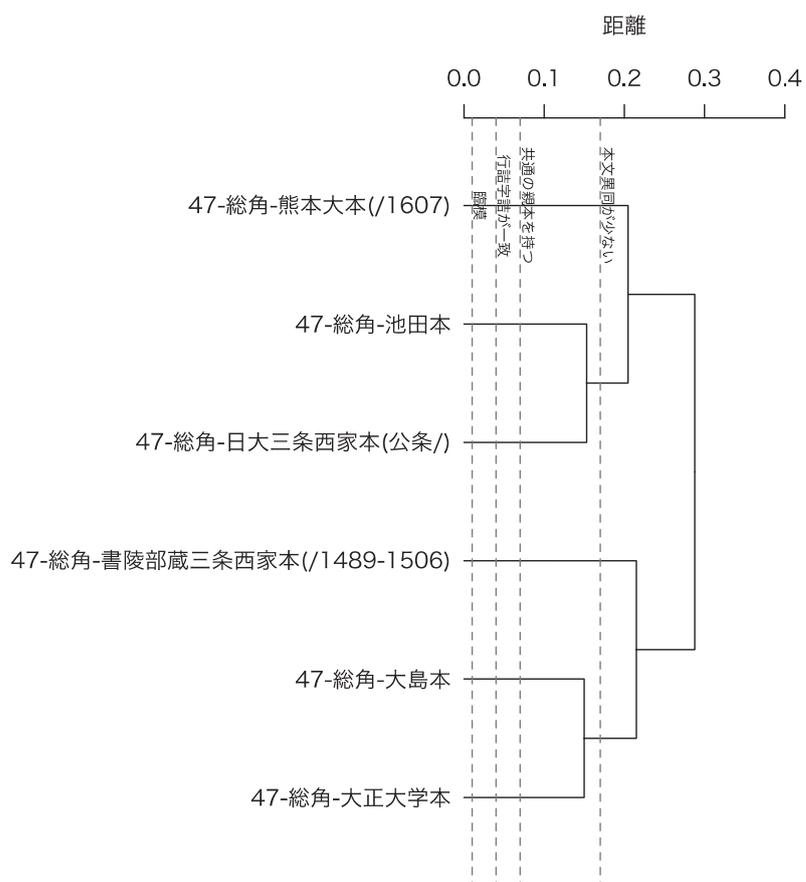
- 紅梅本と熊本大本は本文異同が少ない距離にある。
- 書陵部本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。

第四十六帖「椎本」



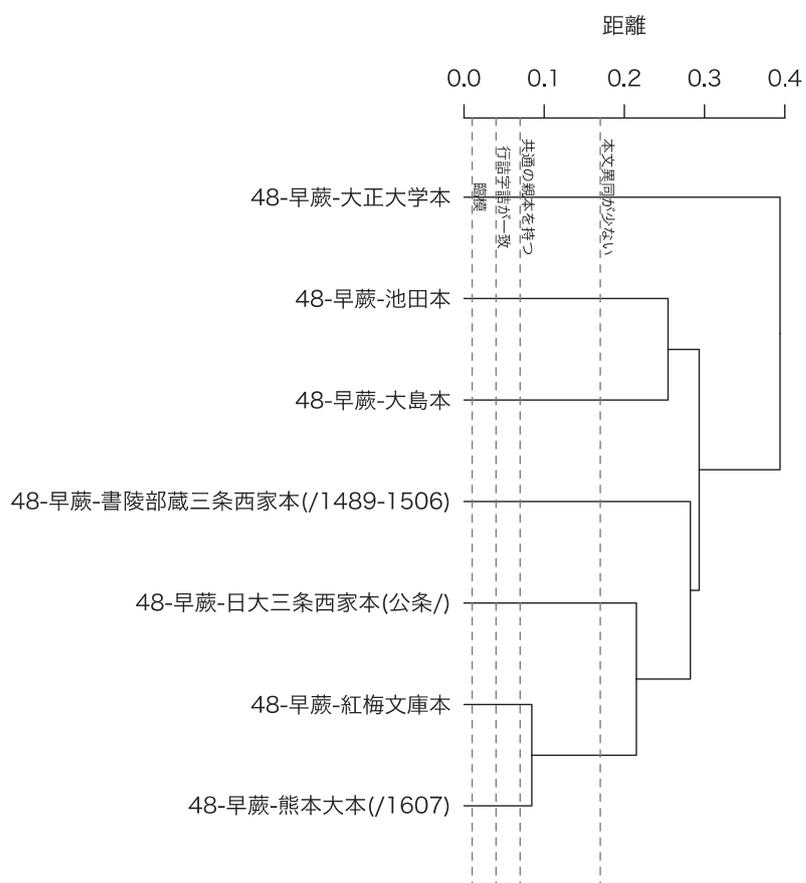
- 書陵部本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。
- 紅梅本と日大本は本文異同が少ない距離にある。

第四十七帖「総角」



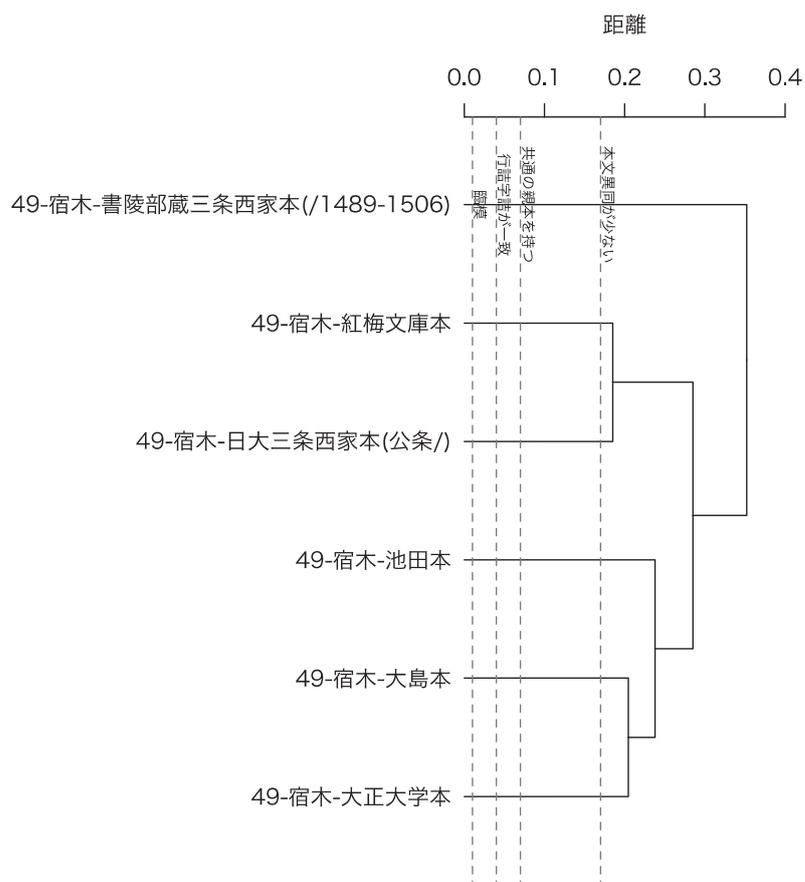
- 池田本と日大本は本文異同が少ない距離にある。
- 大島本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。

第四十八帖「早蕨」



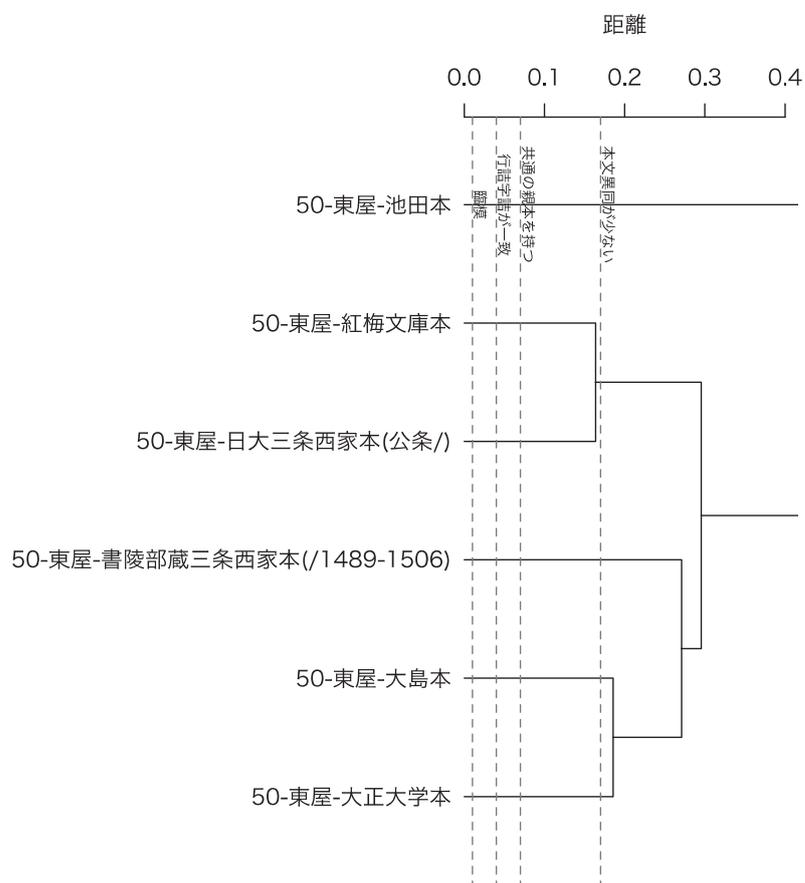
- 紅梅本と熊本大本は本文異同が少ない距離にある。

第四十九帖「宿木」



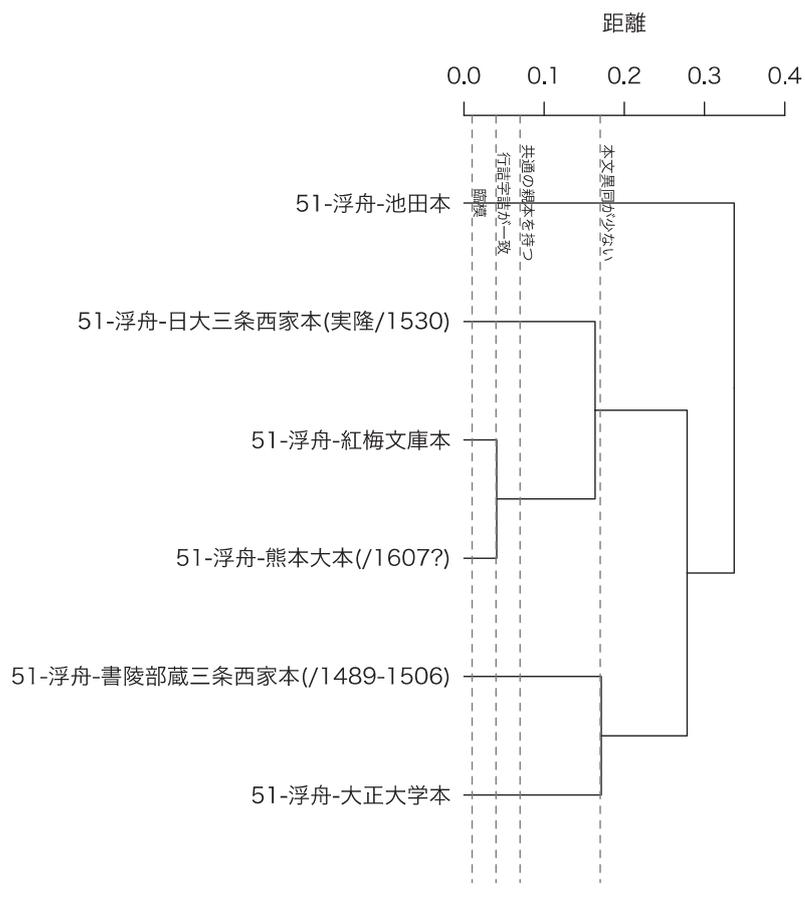
• 本文が類似する写本は存在しない。

第五十帖「東屋」



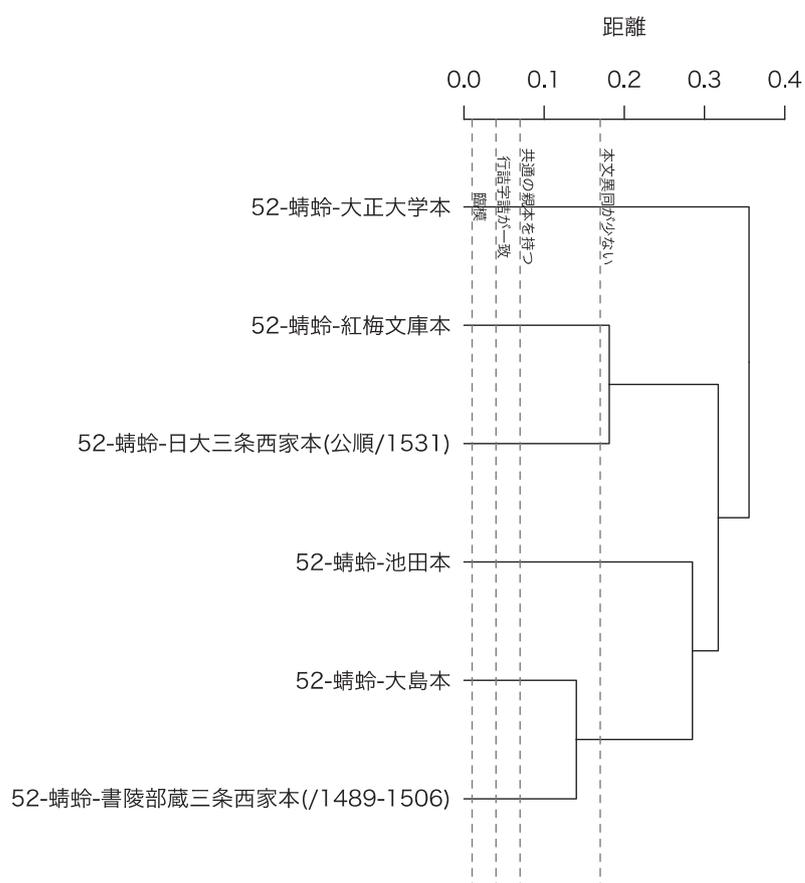
• 紅梅本と日大本は本文異同が少ない距離にある。

第五十一帖「浮舟」



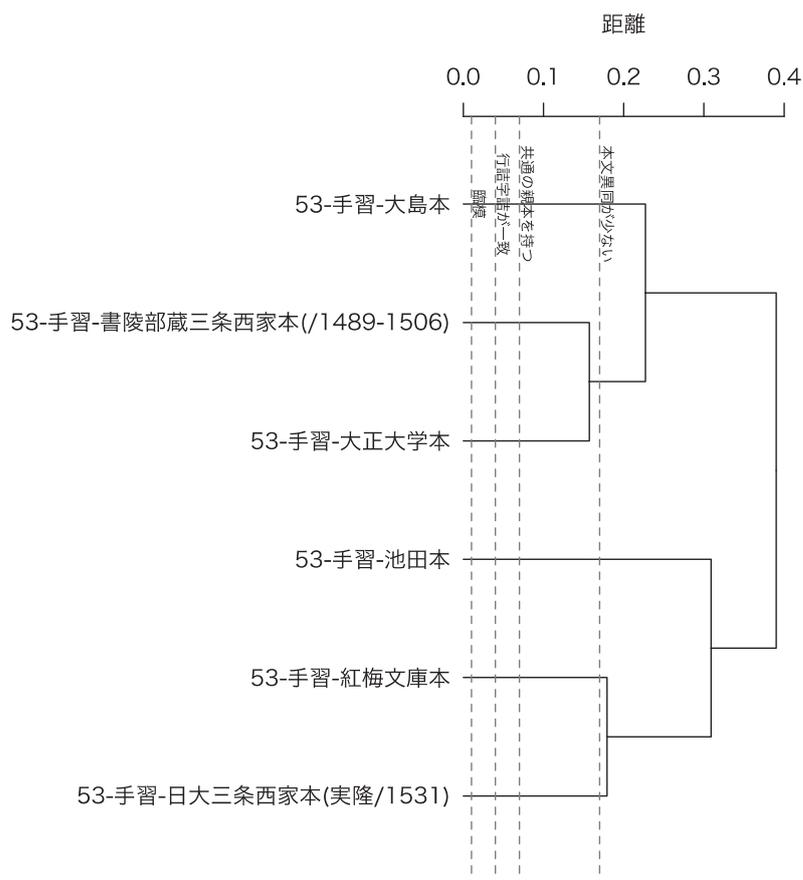
• 紅梅本と熊大本は共通の親本を持つ距離にある。中院文庫本と日大本は、それらの写本と本文異同が少ない距離にある。

第五十二帖「蜻蛉」



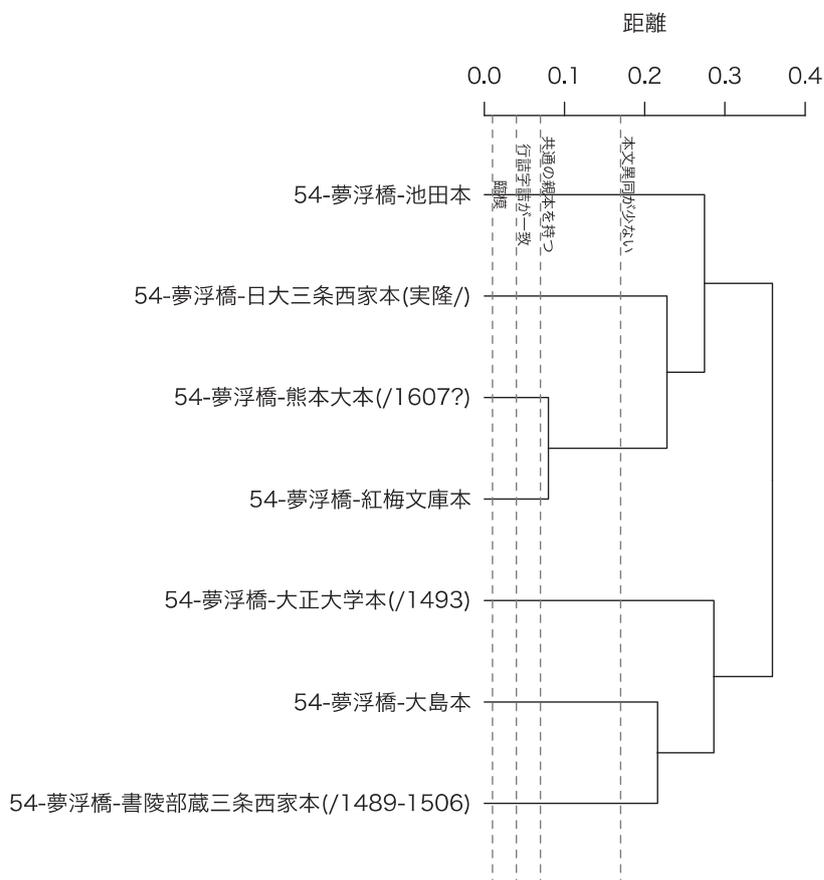
• 大島本と書陵部本は本文異同が少ない距離にある。

第五十三帖「手習」



• 書陵部本と大正大本は本文異同が少ない距離にある。

第五十四帖「夢浮橋」



• 熊大本と紅梅本は本文異同が少ない距離にある。